

サーバーレスオンデマンドプリント
どこでもプライベートプリント V7.x
ID選択プリント V7.x
取扱説明書

本書の中で、商品提供者として「富士ゼロックス株式会社」が使われている場合は、「富士フイルムビジネスインベーション株式会社」と読み替えてください。

- Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、および PostScript は、米国ならびに他の国における Adobe の登録商標または商標です。
- その他の社名、または商品名等は、各社の登録商標、または商標です。

- このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。

Xerox、Xerox ロゴ、Fuji Xerox ロゴ、および CentreWare は、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、サーバーレスオンデマンドプリントの設定方法や機能の操作方法、使用上の注意を記載しています。本機能のご使用にあたっては、必ず本書をお読みください。

なお、本書の内容は、お使いのパーソナルコンピューターや、機械の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。

お使いのパーソナルコンピューターの基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピューターに付属の説明書をお読みください。お使いの機械の操作方法については、機械に同梱されているマニュアルをご覧ください。

注記

本書で説明しているどこでもプライベートプリントのバージョンは、V7.x です。

V4.x、V6.x または V7.x の機械が混在した環境で、どこでもプライベートプリントを利用することはできますが、バージョンによって、対応機種や機能が異なります。

V4.x の対応機種や機能については、お使いの機械用の『サーバーレスオンデマンドプリント取扱説明書』を参照してください。

補足

- ・「プライベートプリント」は「どこでもプライベートプリント」に名称が変更されました。お使いのサーバーレスオンデマンドプリントのバージョンによっては、本書に記載している画面がお使いの機械と異なる場合があります。
- ・機械のコントローラーソフトウェアのバージョンによって、本書に記載している画面が、お使いの機械と異なる場合があります。
- ・お使いの機械の構成によっては、画面に表示されない項目や使用できない機能があります。
- ・お使いの機械で「フリック / ダブルタップ操作」を「有効」に設定している場合は、ドラッグ、フリックなどの特有の操作ができます。詳しくは、お使いの機器のマニュアルを参照してください。

富士フイルムビジネスイノベーション株式会社

本書の使い方

本書の構成

本書の構成は、次のとおりです。

1 サーバーレスオンデマンドプリントとは

本ソフトウェアの機能の概要を説明しています。

2 使用環境の設定

本ソフトウェアを使用するために必要な設定項目を説明しています。

3 プリントする

本ソフトウェアを使用してプリントする手順を説明しています。

4 トラブル対処

お使いの機械に何らかのトラブルが発生した場合の処置について説明しています。

5 バージョンアップについて

Management Console を使用して、本アプリケーションをバージョンアップ（アップデート）する方法について説明しています。

6 注意 / 制限事項について

本ソフトウェアを利用する上でお読みいただきたい注意 / 制限事項を記載しています。

本書の表記

- 機械のソフトウェアのバージョンによって、本書に記載している画面が、お使いの機械と異なる場合があります。
- お使いの機械の構成によっては、画面に表示されない項目や使用できない機能があります。
- 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。
- 本文中の「リモート機」は、お使いの機械からプリントジョブを共有する機械のことを指します。
- 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。



注記

注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。



補足

補足事項を記述しています。



参照

参照先を記述しています。

- 本文中では、次の記号を使用しています。

「 」

- ・ 本書内にある参照先を表しています。
- ・ 機能の名称やタッチパネルディスプレイのメッセージ、入力文字列などを表しています。

『 』

- ・ 参照するマニュアルを表しています。

-
- | | |
|---------------|--|
| [] | <ul style="list-style-type: none">・機械のタッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。・コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。 |
| < > ボタン | <ul style="list-style-type: none">・機械の操作パネル上のハードウェアボタンを表しています。 |
| < > キー | <ul style="list-style-type: none">・コンピューターのキーボード上のキーを表しています。 |
| > | <ul style="list-style-type: none">・操作パネルやコンピューターで順に項目を選択する手順を、省略して表しています。 |

もくじ

1	サーバーレスオンデマンドプリントとは	8
	どこでもプライベートプリントと ID 選択プリントの違い	8
	サーバーレスオンデマンドプリントの特長	10
	対象機種	11
2	使用環境の設定	12
	本体側の設定	12
	[設定] 画面で各項目を設定する	14
	共通の設定	14
	どこでもプライベートプリントに必要な設定	16
	ID 選択プリントに必要な設定	17
	サーバーレスオンデマンドプリントの環境設定	17
	管理者設定画面	17
	[複合機の登録] 画面	20
	[グループ名の変更] 画面	22
	[検索対象の複合機の初期設定] 画面 (プライベートプリント対象)	22
	[ユーザー ID 選択の複合機指定] 画面 (ID 選択プリント対象)	22
3	プリントする	23
	プリンタードライバの設定	23
	コンピューターからのプリント指示	27
	複合機からのプリント	29
	複合機からのプリント (どこでもプライベートプリント)	29
	複合機からのプリント (ID 選択プリント)	29
	[どこでもプライベートプリント] 画面 / [ID 選択プリント] 画面	30
	[ユーザー ID 選択 - ID 選択プリント] 画面 (ID 選択プリント対象)	31
	暗証番号あり / なし文書が混在して蓄積されている場合 (ID 選択プリント対象)	32
	プリントの中止	33
	プリント設定の変更	33
	[設定変更] 画面	33
	プリント済み文書の再利用	34
4	トラブル対処	36
	本機能が起動しない	36
	文書が表示されない	38
	プリントできない	43
	思ったとおりのプリント結果にならない	46
	文書が削除できない	47
	環境設定が変更できない	49
	接続テストに失敗する機械が存在する	50
	コンテンツ情報の確認	50
5	バージョンアップについて	51
6	注意 / 制限事項について	52
	本機能を使用するうえでの注意 / 制限	52
	機械の使用上の注意 / 制限	52
	プリント機能の使用上の注意 / 制限	52
	ジョブの表示件数について	53
	本機の認証モードを変更した場合の注意 / 制限	54
	機能ボタンの変更 (ApeosPort-VI / DocuCentre-VI 以前の機種)	54

機能ボタンの変更 (ApeosPort-VII / DocuCentre-VII 以降の機種)	56
プラグインの変更	57

1 サーバーレスオンデマンドプリントとは

サーバーレスオンデマンドプリントは、「プライベートプリント」や「認証プリント」で機械に蓄積した文書を連携した複合機からプリントすることができるようになるアプリケーションです。

サーバーレスオンデマンドプリントでは、コンピューターから指示したプリントジョブをいったん機械に蓄積します。ユーザーは、機械からジョブを呼び出してプリントします。ジョブを蓄積するためのサーバーは必要ありません。

ジョブを蓄積している機械が使用中でも、空いている機械からプリントできます。また、プリントする前にジョブを確認できるので、無駄なプリントを削減できます。

どこでもプライベートプリントと ID 選択プリントの違い

サーバーレスオンデマンドプリントには、お客様がお使いの認証の環境に合わせて2つのアプリケーションが用意されています。

- どこでもプライベートプリント：本体認証、外部認証、認証しないモードで IC カードをお使いの場合
- ID 選択プリント：認証しないモードで IC カードも利用していない場合

ご利用の環境に合わせて、どちらか1つのアプリケーションをご利用ください。



注記

どこでもプライベートプリントと ID 選択プリントの併用はできません。



補足

本書では、どこでもプライベートプリントと ID 選択プリントの両方の設定や使い方について説明しています。

項目		どこでもプライベートプリント	ID 選択プリント
認証	本体認証（IC カードあり / なし）	○	×
	外部認証（IC カードあり / なし）	○	×
	なし（IC カードあり）	○	×
	なし（IC カードなし）	×	○
最大連携可能台数（ジョブを共有できる機械）		50 台 ^{*1}	50 台 ^{*1*2}
グルーピング機能	最大グループ数	10	10
	1 グループに登録できる複合機の数	49 台	10 台 ^{*2}
	グループに所属しない複合機の文書検索	○	× ^{*2}
	認証方式の設定	必要 ^{*3}	不要
	ユーザーの登録	必要 ^{*3}	不要
設定必須の項目	受信制御	プライベートプリントに保存	認証プリントに保存

*1：機種によっては、最大 100 台まで連携できます。100 台まで連携できる機種は以下のとおりです。

ApeosPort C7070/C6570/C5570/C4570/C3570/C3070/C2570

ApeosPort C2360/C2060

ApeosPort-VII C7788/C6688/C5588

DocuCentre-VII C7788/C6688/C5588

ApeosPort-VII C7773/C6673/C5573/C4473/C3373/C3372/C2273

DocuCentre-VII C7773/C6673/C5573/C4473/C3373/C3372/C2273

ApeosPort-VII C4422/C4421/C3322

ApeosPort 4570/3570

ApeosPort 3060/2560

ApeosPort-VII 5022

ApeosPort Print C5570/C4570

ApeosPort-VII CP4422/CP3322

ApeosPort-VII P4022 JM/P4022

*2：ジョブを共有できる機械は最大 50 台ですが、同時に検索できるのは、同一グループに所属する機械（最大 10 台）までです。

*3：認証なし、かつ IC カードを運用している場合は不要です。

サーバーレスオンデマンドプリントの特長

プリントジョブの共有

- ジョブを受信した機械が使用中でも、空いている機械からプリントできます。
- ジョブを共有できる機械は、ジョブを受信した機械とあわせて 50 台まで設定できます。事前にグループを設定し、特定のグループに所属する機械だけを検索し、蓄積されている自分のプリントジョブをプリントします。



補足

ID 選択プリントでは、1 グループあたり最大 10 台の機械（複合機）、最大 10 グループまで設定できます。

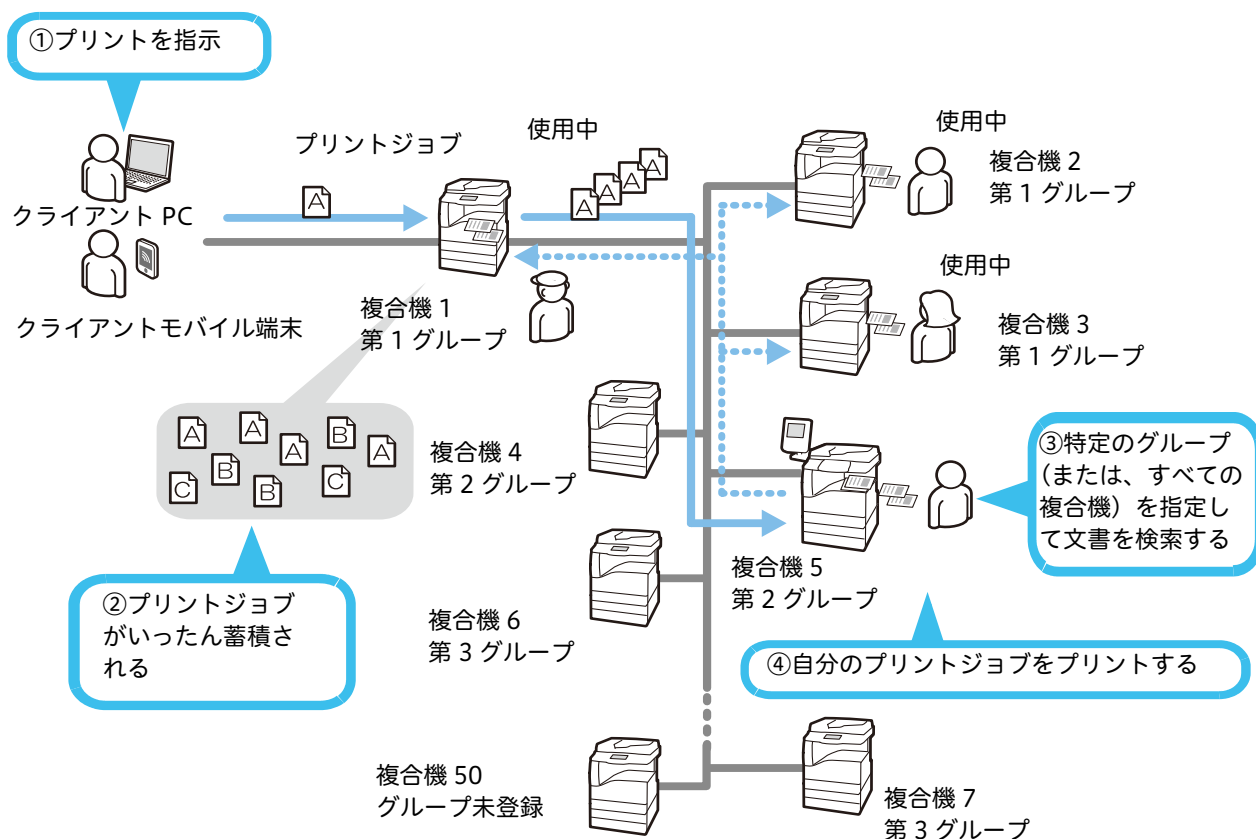
ジョブを共有できる機械は最大 50 台ですが、同時に検索できるのは、同一グループに所属する機械（最大 10 台）までです。

- ID 選択プリントの場合、機械 1 台あたりに登録可能な認証プリントボックスのユーザーID は 200 件です。
1 つのグループに最大 10 台の機械を登録した場合は一覧に最大 2000 件まで表示できます。



注記

一台の機械にプリントジョブが集中すると、機械のハードディスク容量がいっぱいになり、別の機械からアクセスしたときにプリントジョブが集中している機械の応答が遅くなることがあります。ユーザーは、一台の機械にプリントジョブを集中させないように近くの機械にプリントジョブを送信してください。



プリント設定の変更

コンピューターで行ったプリント設定を、機械側でプリント時に変更できます。

両面で出力したい文書を片面でプリントするように指示してしまった場合でも、プリント時に両面プリントに変更できます。ユーザーはコンピューターから再度プリント指示する操作を省くことができます。



参照

詳しくは、「プリント設定の変更」(P.33)を参照してください。

プリント済み文書の確認

プリント済みの文書や転送中 / 転送済みの文書は、[履歴からプリント] 画面に表示され、再度プリントできます。

ジョブが完了した文書を再度プリントしたい場合、ユーザーはコンピューターからプリント指示する操作を省略することができます。



参照

詳しくは、「プリント済み文書の再利用」(P.34)を参照してください。

対象機種

本機能を利用できる機種については、公式サイトをご覧ください。

2 使用環境の設定

本機能を使用するために必要な設定項目を説明します。本機能を使用する前に、次の項目が正しく設定されているか確認してください。

本体側の設定

あらかじめお使いの機械で次の設定をしておく必要があります。設定の手順については、各項目の参照先をご確認ください。

共通の設定

項目	設定内容
SOAP ポート	- SOAP ポート：起動 - ポート番号：80  参照 「SOAP ポート」(P.14)
メモリー設定	- 受信バッファ - IPP：ハードディスクスプール  参照 「メモリー設定」(P.15)
Web ブラウザー設定	- 終了時のキャッシュ削除：しない - キャッシュの使用：する  参照 「Web ブラウザー設定」(P.15)

項目	設定内容
プロトコル設定	・ IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、お使いの機械を TCP/IP 環境で使用するための設定  補足 ・ お使いの機械の IP 動作モードと、プリントジョブを共有する機械の IP 動作モードが同じになるように設定してください。 ・ 以下機種と接続する場合、旧機種互換モードに設定してください。 ApeosPort-VI C7771/C6671/C5571/C4471/C3371/C2271 DocuCentre-VI C7771/C6671/C5571/C4471/C3371/C2271 ApeosPort-V C7785/C6685/C5585 DocuCentre-V C7785/C6685/C5585 ApeosPort-V C7780/C6680/C5580 DocuCentre-V C7780/C6680/C5580 ApeosPort-V C7776/C6676/C5576/C4476/C3376/C2276 DocuCentre-V C7776/C6676/C5576/C4476/C3376/C2276 ApeosPort-V C7775/C6675/C5575/C4475/C3375/C2275 DocuCentre-V C7775/C6675/C5575/C4475/C3375/C2275 ApeosPort-V C3320 DocuCentre-V C2263 ApeosPort-V 7080/6080/5080 DocuCentre-V 7080/6080/5080 ApeosPort-V 4070/3070 DocuCentre-V 4070/3070 ApeosPort-V 4020 DocuCentre-V 3060/2060 DocuColor 7171 P VersantTM 180 Press VersantTM 80 Press VersantTM 80 Press (Model-2) B9136 / B9125 / B9110 Light Publisher  参照 「プロトコル設定」(P.15)

どこでもプライベートプリントに必要な設定

項目	設定内容
認証方式の設定	・ 認証方式の設定：本体認証または外部認証 ・ ユーザーの登録  補足 ・ 認証方式は、お使いの機械とプリントジョブを共有する機械の設定が同じになるように設定してください。 ・ [認証方式の設定] を [認証しない] に設定していても、本機能を使用することができます。 ただし、IC Card Gate 2/3 または内蔵型 IC カードリーダーがお使いの機械に装着されている必要があります。その場合、IC Card Gate 2/3 または内蔵型 IC カードリーダーが読み取ったカード番号と同一の User ID のジョブだけがプリント対象となります。お使いの機械でのユーザーの登録は不要です。  参照 「認証方式の設定」(P.15)
認証情報の設定	・ IC カード連携モード：パスワード入力不要  補足 外部認証を使用する場合は、この設定が必要です。  参照 「認証情報の設定（どこでもプライベートプリント対象）」(P.16)

項目	設定内容
プライベートプリントの設定	受信制御：プライベートプリントに保存  参照 「プライベートプリントの設定（どこでもプライベートプリント対象）」（P.16）

ID 選択プリントに必要な設定

項目	設定内容
認証方式の設定	認証方式の設定：認証しない  参照 「認証方式の設定」（P.15）
認証 / プライベートプリントの設定	受信制御：認証プリントに保存  参照 ・「認証 / プライベートプリントの設定（ID 選択プリント対象）」（P.17）

【設定】画面で各項目を設定する

お使いの複合機で「設定」画面を表示する手順は次のとおりです。



補足

・本書で記載している画面は、お使いの機種によって異なることがあります。設定方法の詳細は、お使いの複合機のマニュアルを参照してください。

操作手順

- 1 機械管理者 ID（必要に応じてパスワード）を入力し、機械管理者モードになります。
- 2 「設定」を押します。
- 3 各項目を設定します。



補足

・設定値を反映するために再起動が必要な場合があります。再起動を促す画面が表示されたら、指示に従って再起動してください。

共通の設定

SOAP ポート

操作手順

- 1 「ネットワーク設定」 > 「ポート設定」で「SOAP」を選択します。
- 2 次の項目を設定します。
 - 「SOAP - ポート」：「起動」
 - 「SOAP - ポート番号」：「80」

メモリー設定

操作手順

- 1 [アプリ設定] > [プリンター設定] > [メモリー設定] で [受信バッファ -IPP] を選択します。
- 2 [スプールする] を選択し、[OK] を押します。

Web ブラウザー設定

操作手順

- 1 [アプリ設定] > [Web ブラウザー設定] で [終了時のキャッシュ削除] を選択します。
- 2 [しない] を選択し、[OK] を押します。
- 3 [キャッシュの使用] を選択します。
- 4 [する] を選択し、[OK] を押します。

プロトコル設定

操作手順

- 1 [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP - ネットワーク設定] で、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、お使いの機械を TCP/IP 環境で使用するための項目を設定します。
- 2 [ネットワーク設定] > [プロキシサーバー一覧] > [プロキシサーバー設定] で [プロキシを使用しないアドレス] を選択します。
- 3 「localhost」と入力し、[OK] を押します。



補足

本機能を使用する場合、「localhost」を削除しないでください。

▷旧機種互換モードの場合

- (1) ネットワークに接続されたコンピュータで、Web ブラウザーを起動します。
- (2) Web ブラウザーのアドレス入力欄にお使いの機械の IP アドレスを入力し、< Enter > キーを押します。CentreWare Internet Services が起動されます。
- (3) [ネットワーク] > [SOAP] をクリックし、[SSMI 暗号の旧機種互換モード] を [使用する] に変更します。
- (4) [保存] をクリックします。機械が再起動し、設定した値が反映されます。

認証方式の設定



補足

- ・どこでもプライベートプリントの場合で、本体認証、または外部認証を使用するときは、この設定が必要です。お使いの機械とプリントジョブを共有する機械の設定が同じになるように設定してください。
- ・どこでもプライベートプリントの場合で、[認証方式の設定] を [認証しない] に設定していても、本機能を使用することができます。ただし、IC Card Gate 2/3、または、内蔵型 IC カードリーダーがお使いの機械に装着されている必要があります。その場合、IC Card Gate 2/3、または、内蔵型 IC カードリーダーが読み取ったカード番号と同一のユーザー ID のジョブだけがプリント対象となります。お使いの機械でのユーザーの登録は不要です。

操作手順

- 1 [設定] > [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] で、[認証方式の設定] を押します。

- 2 次の操作をします。

▷どこでもプライベートプリントの場合

- (1) [本体認証] または [外部認証] を選択し、[OK] を押します。
- (2) 本体認証の場合は、本機能を使用するユーザーを登録します。
[設定] > [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] > [ユーザー登録 / 集計確認] を押します。
- (3) 登録する番号を選択します。
- (4) 登録するユーザー ID を入力し、[OK] を押します。
- (5) [ユーザー名] を選択して、登録するユーザー名を入力し、[OK] を押します。
- (6) 必要に応じて、その他の項目を設定し、[×] を押します。
- (7) 手順 (3) ~ (6) を繰り返し、ユーザーを登録します。

▷ID 選択プリントの場合

- (1) [認証しない] を選択し、[OK] を押します。

どこでもプライベートプリントに必要な設定

認証情報の設定（どこでもプライベートプリント対象）



補足

IC カードを利用した外部認証を使用する場合は、この設定が必要です。

操作手順

- 1 [設定] > [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証情報の設定] で [IC カード連携モード] を選択します。

- 2 [パスワード入力不要] を選択し、[OK] を押します。

プライベートプリントの設定（どこでもプライベートプリント対象）

操作手順

- 1 [設定] > [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] で、[認証 / プライベートプリントの設定] を押します。

- 2 [受信制御] を選択します。

- 3 [プライベートプリントに保存] を選択し、[OK] を押します。



補足

本体認証の場合は、受信制御で [プリントの認証に従う] を選択し、[認証成功のジョブ] で [プライベートプリントに保存] を選択して設定することもできます。

ID 選択プリントに必要な設定

認証 / プライベートプリントの設定 (ID 選択プリント対象)

操作手順

- 1 [設定] > [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] で、[認証 / プライベートプリントの設定] を押します。
- 2 [受信制御] を選択します。
- 3 [認証プリントに保存] を選択し、[OK] を押します。

サーバーレスオンデマンドプリントの環境設定

機械管理者でログインし、サーバーレスオンデマンドプリントを利用するための設定をします。設定は、本機能の管理者設定画面から行います。



補足

- ・管理者権限のある認証ユーザーの場合は、文書一覧画面下部の [管理メニュー] (一部の機種では、 ボタン) を押すと、管理者設定画面が表示されます。

操作手順

- 1 機械管理者モードに入ります。
- 2 [どこでもプライベートプリント] または [ID 選択プリント] を押します。



補足

- ・画面に表示する機能ボタンの設定を変更している場合、[どこでもプライベートプリント] ボタンまたは [ID 選択プリント] ボタンが表示されないことがあります。その場合は、一部の機種では、[仕様設定] > [共通設定] > [画面 / ボタンの設定] で、[メニュー画面の機能配列] の設定を変更してください。詳しくは、お使いの機械のマニュアルを参照してください。
- ・[どこでもプライベートプリント] ボタンまたは [ID 選択プリント] ボタンが表示されない場合は、必要な環境設定が機械に正しく設定されているか確認してください。環境設定については、「2 使用環境の設定」(P.12) を参照してください。

- 3 [セットアップ] 画面で [実行] を押すと、自動でセットアップが開始されます。終了すると、機械が再起動します。



注記

- 自動セットアップを行うと、蓄積されている文書はすべて削除されます。

- 4 [閉じる] を押します。
2 回目以降に [どこでもプライベートプリント] または [ID 選択プリント] にアクセスすると、管理者設定画面で任意の項目を設定できます。

管理者設定画面

管理者設定画面では、次の項目を設定できます。

どこでもプライベートプリントの場合

どこでもプライベートプリント 管理メニュー	
複合機の登録	
グループ名の変更	
文書選択の初期設定	未選択
検索対象の複合機の初期設定	すべての複合機
文書の検索動作	文書が見つかったら停止
文書の表示順	日時の新しい順
接続タイムアウト時間(5-999秒)	60 - +
[履歴からプリント]の使用	☐

ID 選択プリントの場合

ID選択プリント 管理メニュー	
複合機の登録	
グループ名の変更	
文書選択の初期設定	未選択
文書の表示順	日時の新しい順
接続タイムアウト時間(5-999秒)	60 - +
[履歴からプリント]の使用	☐
ユーザーID選択の複合機指定	この複合機
ユーザーID表示順の初期設定	名前の昇順

複合機の登録

選択すると、「複合機の登録」画面が表示されます。



参照

「複合機の登録」画面については、「[複合機の登録] 画面」(P.20) を参照してください。

グループ名の変更

選択すると、「グループ名の変更」画面が表示されます。



参照

「グループ名の変更」画面については、「[グループ名の変更] 画面」(P.22) を参照してください。

文書選択の初期設定

文書一覧画面を表示するときに、文書が選択された状態にするかどうかを設定します。[未選択]、[すべて選択] から選択します。

検索対象の複合機の初期設定（どこでもプライベートプリント対象）

選択すると、「検索対象の複合機の初期設定」画面が表示されます。



参照

「検索対象の複合機の初期設定」画面については、「[検索対象の複合機の初期設定] 画面（プライベートプリント対象）」(P.22) を参照してください。

文書の検索動作（どこでもプライベートプリント対象）

文書を検索するときの動作を指定します。

「文書が見つかったら停止」を選択した場合は、「どこでもプライベートプリント」画面の「表示する文書ドロップダウンリスト（プライベートプリント対象）」(P.30) で、どの機械を検索対象に設定しているかによって、動作が異なります。

- 検索対象に操作している機械が含まれている場合は、まず操作している機械に対して文書の検索が実施されます。

- 検索対象に操作している機械が含まれていない場合、または含まれていても操作している機械に文書が蓄積されていない場合は、リモート機で検索対象となるものの最初の 5 台に対して文書の検索が実施されます。

上記の検索で文書が見つかった場合は、文書一覧を表示します。文書がない場合は検索対象となるリモート機の次の 5 台を検索します。

プリントしたい文書が検索されていない場合は、文書一覧の末尾に表示される「残りの文書を確認する」を押すと、残りのリモート機に対して文書の検索を行います。

「すべての複合機を検索」を選択した場合は、すべてのリモート機機械が終わるまで検索を行います。



補足

「すべての複合機を検索」を選択した場合は、機械の登録台数と接続タイムアウト時間によっては、文書の検索に時間がかかることがあります。

文書の表示順

文書の表示順を「日時の新しい順」、「日時の古い順」から選択します。

全文書選択時のプリント順

すべての文書を選択した場合のプリント順を「[[文書の表示順] の設定に従う」、「日時の新しい順」、「日時の古い順」から選択します。

接続タイムアウト時間

リモート機に文書のプリントやジョブの削除を指示したり、リモート機から文書の一覧を受信したりするとき、接続の有効時間を設定します。ここで設定した時間以内に接続しないと、指示が無効になります。

5 ～ 999 秒の範囲で設定します。



補足

- ・ 一度に大量の文書をプリント指示した場合や、処理に時間がかかる複雑な文書が含まれる場合、最後のページを受け付ける前にタイムアウトすることがあります。タイムアウトすると、受信したプリントジョブはキャンセルされるので、使用状況を考慮して時間を設定してください。
- ・ どこでもプライベートプリントの場合、機械の登録台数と接続タイムアウト時間によっては、文書の受信に時間がかかることがあります。使用状況を考慮して時間を設定してください。

【履歴からプリント】の使用

プリント済みの文書や転送中 / 転送済みの文書を、再利用するかどうかを設定します。

「[する]」を選択すると、プリントや転送が完了した文書は削除されず、「履歴からプリント」画面から再度プリントできます。「[しない]」を選択すると、プリントや転送が完了した文書は削除され、「履歴からプリント」画面は表示されません。



注記

本機能では、「[しない]」を選択した場合、プリントや転送が完了した文書は必ず削除され、ジョブを保存するかどうかの設定はできません。プリントや転送が完了した文書を保存する場合は、「[する]」を選択してください。



参照

「履歴からプリント」画面については、「プリント済み文書の再利用」(P.34) を参照してください。

ユーザー ID 選択の複合機指定 (ID 選択プリント対象)

選択すると、「ユーザー ID 選択の複合機指定」画面が表示されます。



参照

「ユーザー ID 選択の複合機指定」画面については、「[[ユーザー ID 選択の複合機指定] 画面 (ID 選択プリント対象)」(P.22) を参照してください。

ユーザー ID 表示順の初期設定 (ID 選択プリント対象)

ユーザー ID の表示順を [名前の昇順]、[名前の降順] から選択します。

エラーの詳細表示

エラーメッセージの表示方法を設定します。

[する] を選択すると、画面全体にポップアップ画面が表示され、エラーの詳細を確認できます。

[しない] を選択すると、画面の上部にエラーの概要だけが表示されます。

文書の表示形式の初期設定

文書一覧の表示方法の初期値を設定します。

[リスト表示] または [サムネール表示] から選択します。

文書の検索方式

文書を検索するときの条件を指定します。

[すべての ID で検索] を選択すると、認証時に機械が取得するすべての ID を使って検索します。

[認証時の ID で検索] を選択すると、認証時に機械が取得する唯一の ID を使って検索します。

通常はこちらを指定してください。



注記

- ・ [すべての ID で検索] を選択した場合、文書の一覧に他のユーザーの文書が表示される場合があります。

[複合機の登録] 画面

[複合機の登録] 画面では、お使いの機械とリモート機を設定します。



補足

- ・ リモート機は、49 台まで設定できます。
- ・ ID 選択プリントの場合、文書の一覧を一度に取得できるのは、最大で同一グループに所属する 10 台までです。
- ・ 文書一覧画面で、特定のグループに蓄積された文書の一覧を表示する場合は、ここで登録された同グループに設定された機械を上から順に 5 台単位で接続し、リモート機に蓄積されている文書の一覧を検索します。よって、よく利用するリモート機から登録することをお勧めします。
- ・ お使いの機械の [IP アドレス / ホスト名]、[SSL]、および [ポート] は表示されません。お使いの機械での設定の確認方法については、お使いの機械のマニュアルを参照してください。

	IPアドレス/ホスト名	SSL	ポート	グループ
自機	(仕様設定から確認できます)			-
1	(未登録)	-	-	-
2	(未登録)	-	-	-
3	(未登録)	-	-	-
4	(未登録)	-	-	-
5	(未登録)	-	-	-

接続テスト

IP アドレス / ホスト名

IP アドレスまたはホスト名を入力します。



補足

IP アドレスは、次のように入力してください。

例)

- ・ 192.0.2.1 (IPv4 の場合)
- ・ [2001:DB8::1234] (IPv6 の場合)

**注記**

- ・セカンダリーネットワーク（オプション）を使用できる機械をお使いの場合、本機能を使用するときは、本機およびリモート機の IP アドレスには、プライマリーネットワークのアドレスを設定してください。本機能はセカンダリーネットワークでは使用できません。
- ・ID 選択プリントの場合、IP 動作モードはすべての機械で同じになるように設定してください。

SSL

機械で設定した SSL の設定を選択します。[有効] に設定した場合は、お使いの機械でリモート機から文書一覧を取得するときに SSL を使用します。

[無効] に設定した場合は、SOAP を使用します。

設定を変更する場合は、この設定だけでなく、機械側の設定も変更してください。

**注記**

- ・リモート機からの文書一覧取得等に SSL 通信が利用できます。また、一部の機種では、リモート機とお使いの機械の両方で SSL の設定が有効の場合、プリントデータ転送に SSL 通信を利用できます。
 - ・プリントデータの転送を暗号化するためには、IPsec をお使いください。IPsec の設定については、お使いの機械のマニュアルを参照してください。
- なお、リモート機の機種によっては、通信プロトコルが IPv6、かつ IKE 認証方式として事前共有鍵を選択していると、IPsec 通信ができないことがあります。その場合、IPsec 通信を IPv4 で運用するか、IKE 認証方式としてデジタル署名を選択してください。

ポート

SSL のポート番号に、初期値ではない値を設定しているとき、使用するポート番号を入力します。

**補足**

- ・この項目は、[SSL] を [有効] に設定している場合に設定できます。
- ・SSL のポート番号はすべての機械で一致している必要があります。ポート番号に初期値（443）ではない値を設定した場合は、すべての機械に変更したポート番号を設定してください。

グループ

所属するグループを選択します。機械は、[01: 第 1 グループ] ～ [10: 第 10 グループ] のグループに分けることができます。

どこでもプライベートプリントの場合、文書一覧画面でグループを指定すると、同グループ内のリモート機に蓄積されている文書の一覧を取得できます。

ID 選択プリントの場合、[ユーザー ID 選択 - ID 選択プリント] 画面でグループを指定すると、同グループ内のリモート機に蓄積されている文書の情報を取得できます。

[-] を設定したリモート機は、グループ未登録機として扱われます。

**補足**

- ・グループ名を変更できます。「[グループ名の変更] 画面」（P.22）を参照してください。
- ・どこでもプライベートプリントの場合、グループ未登録機に蓄積されている文書の一覧を取得するには、表示する文書ドロップダウンリストで [すべての複合機] を選択する必要があります。そのため、機械の登録台数によっては、文書の一覧が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- ・ID 選択プリントの場合、1 グループあたり最大 10 台の機械を設定できます。
- ・ID 選択プリントの場合、グループ未登録機に蓄積されている文書の情報は取得できません。

接続テスト

[接続テスト] を押すと、接続テストが開始され、IP アドレス / ホスト名を入力したすべての機械の接続状況を確認します。接続テスト中は、「接続テストを行なっています。」と表示されます。接続テストが完了すると、「接続テストを完了しました。」と表示されます。

接続テストに失敗した機械があった場合は、接続に失敗した機械の番号と台数が表示されます。接続テストを中止するには、[中止] を押します。

**注記**

[認証方式の設定] を [認証しない] に設定した状態で接続テストを行った場合、接続テストに成功しても文書の一覧を取得できないことがあります。



補足

- ・ 接続テストは、登録したすべての機械に 5 台単位で実施されます。
- ・ 機械の登録台数と、管理者設定画面の「接続タイムアウト時間」の設定によっては、接続テストの完了までに時間がかかる場合があります。
- ・ 接続テスト中の機械がある場合、[中止] を押しても、すぐにテストは中止されません。この場合、接続テストが完了するまで、「接続テストを中止しています。」と表示されます。

【グループ名の変更】画面

【グループ名の変更】画面では、グループの名称を設定できます。グループ名は全角、および半角で 20 文字以内で設定します。



【検索対象の複合機の初期設定】画面（プライベートプリント対象）

文書一覧画面の初期表示を設定します。

【この複合機】を選択すると、お使いの機械に蓄積されている文書の一覧が初期表示されます。
【すべての複合機】を選択すると、お使いの機械とリモート機に蓄積されているすべての文書の一覧が初期表示されます。【第 1 グループ】～【第 10 グループ】のいずれかを選択すると、該当グループの機械に蓄積されている文書の一覧が初期表示されます。



補足

一部の機種では、ボタン名称が異なります。

【ユーザー ID 選択の複合機指定】画面（ID 選択プリント対象）

【ユーザー ID 選択 - ID 選択プリント】画面の初期表示を設定します。

【この複合機】を選択すると、お使いの機械に蓄積されている文書のユーザー ID の一覧が初期表示されます。

【第 1 グループ】～【第 10 グループ】のいずれかを選択すると、該当グループの機械に蓄積されている文書のユーザー ID の一覧が初期表示されます。

3 プリントする

コンピューターからプリントを指示し、機械から本機能を使用してプリントする手順を説明します。



補足

- ・スマートフォンやタブレット端末からの出力にも対応しています。
 - 最新バージョンの Print Utility for iOS, Print Utility for Android が必要です。
 - Print Utility for iOS は App Store から、Print Utility for Android は Google Play ™から無料でダウンロードできます。
 - Print Utility の設定については、当社公式サイトをご覧ください。
- ・Mac OS X 用標準プリンタードライバーを使用した出力にも対応しています。
 - 機種が混在している環境でも利用可能です。

プリンタードライバーの設定

プリントを指示するコンピューターのプリンタードライバーに、機械で認証するための User ID を設定します。

どこでもプライベートプリントでは、この設定が必要です。

ここでの設定は、本機能で設定する蓄積用ユーザー ID に、Windows のログオン ID を利用する場合で、かつ文書に暗証番号を設定する必要がない場合には、不要です。

蓄積用 ID を任意に設定したい場合や暗証番号を設定したい場合は、次の手順にしたがってプリントを指示するコンピューターのプリンタードライバーに、蓄積用ユーザー ID を設定します。

- 対象ドライバー
 - 機種固有ドライバー (ART EX/PostScript®)
 - Multi-model Print Driver 2

ここでは、ART EX ドライバーを使用した例で、手順を説明します。

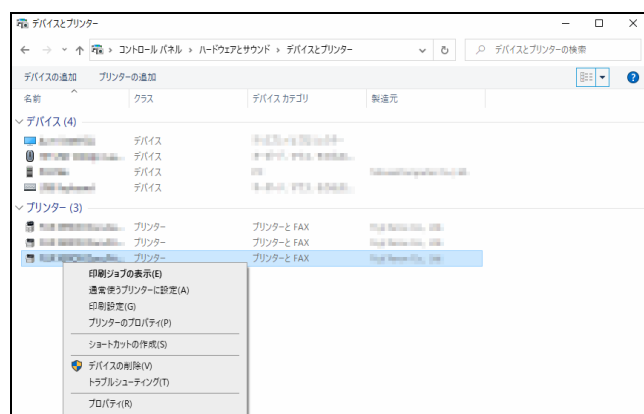


補足

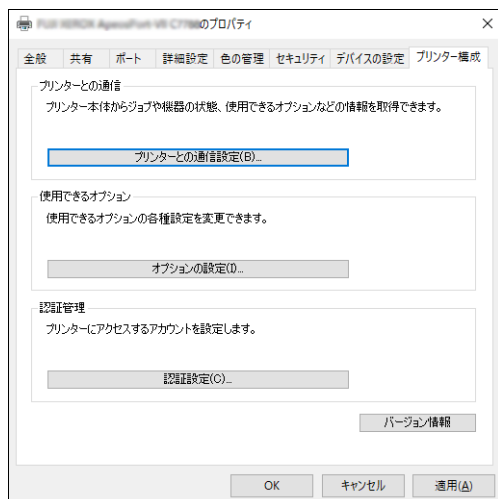
- ・各種ドライバーのバージョンアップによって、本書に記載している内容が、お客様がお使いのものと異なる場合があります。
- ・お使いの機械とリモート機の機種が異なるときは、カラー文書のプリント結果が期待どおりにならないことがあります。Multi-model Print Driver 2 を使用してください。

操作手順

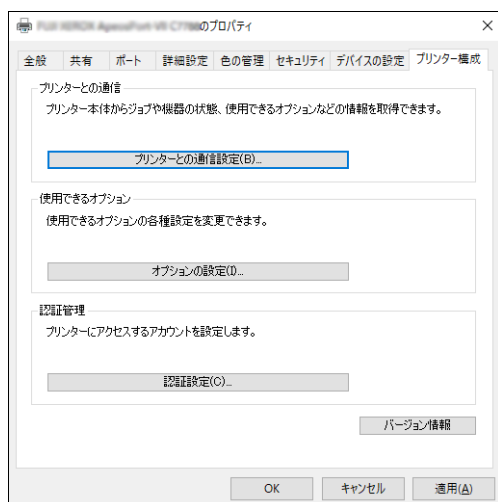
- 1 お使いのプリンターで [デバイスとプリンター] を表示します。
- 2 プリンターアイコンを右クリックし、表示されるメニューから [プリンターのプロパティ] を選択します。



3 「プリンター構成」タブをクリックします。



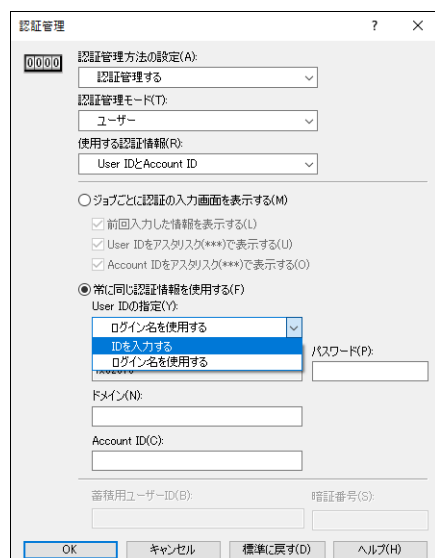
4 「認証設定」をクリックします。



5 次の設定をします。

どこでもプライベートプリントの場合

- (1) 「常に同じ認証情報を使用する」がチェックされていることを確認し、「User ID の指定」から「IDを入力する」を選択します。



(2) 認証するためのユーザー ID を入力し、[OK] をクリックします。



補足

- ・ 認証するためのパスワードを設定している場合は、パスワードも入力します。
- ・ [認証方式の設定] で [外部認証] を選択している場合は、[ドメイン] も入力します。
- ・ [認証方式の設定] で [認証しない] を選択している場合、IC Card Gate 2/3、または、内蔵型 IC カードリーダーで読み取るカードのユーザー ID と同一のユーザー ID を入力してください。

▷ ID 選択プリントの場合

(1) [使用する認証情報] から [蓄積用ユーザー ID] を選択します。

- (2) [常に同じ認証情報を使用する] がチェックされていることを確認し、[蓄積用ユーザー ID] を入力し、[OK] をクリックします。



認証するための暗証番号を設定する場合は、暗証番号も入力します。

6 [OK] をクリックします。



補足

ID 選択プリントの場合、暗証番号はプリントする文書ごとに設定の有無を変更できます。プロパティから都度変更するのが面倒な場合は、2 種類（暗証番号ありとなし）のプリンターアイコンを用意しておくことをお勧めします。

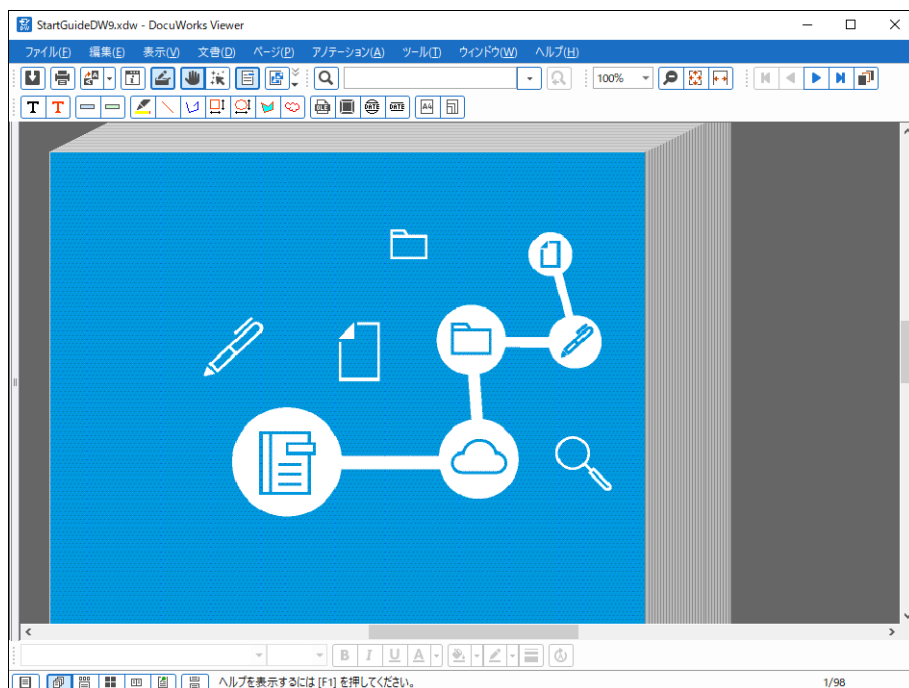


コンピューターからのプリント指示

コンピューターからプリント指示をする手順について説明します。

操作手順

1 プリントしたい文書を表示します。

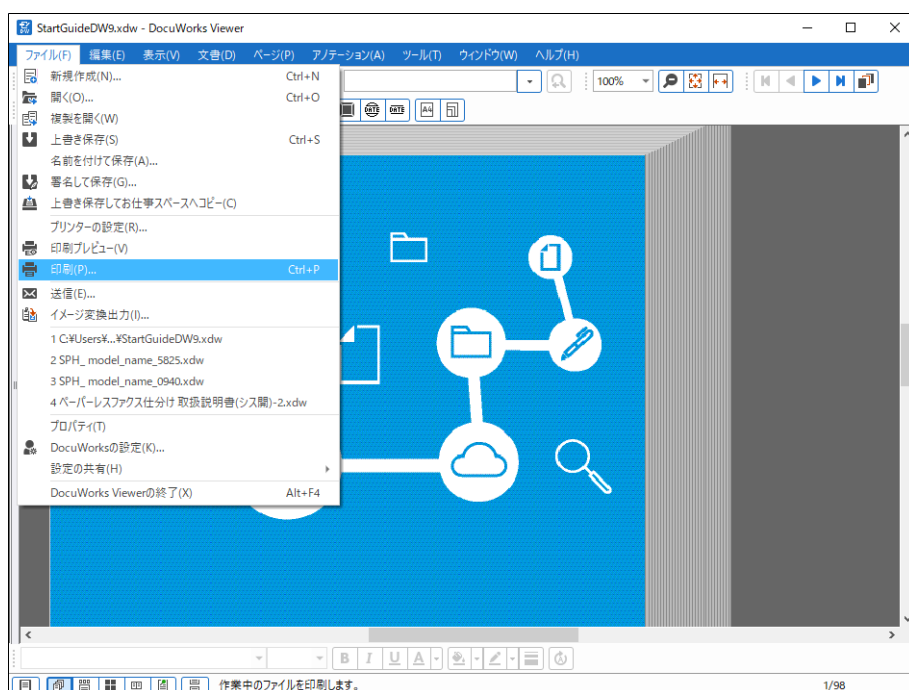


2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

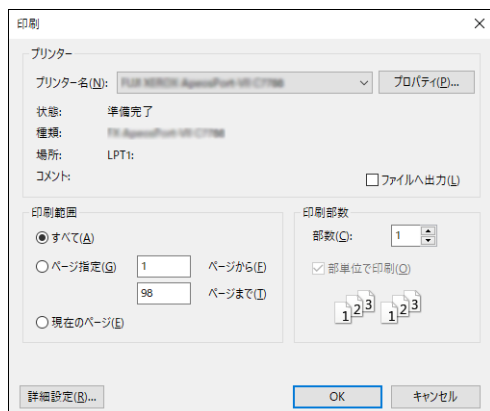


補足

アプリケーションソフトウェアによっては、メニューの呼びかたが異なることがあります。



3 [プリンター名] でお使いの機械を選択し、[プロパティ] をクリックします。

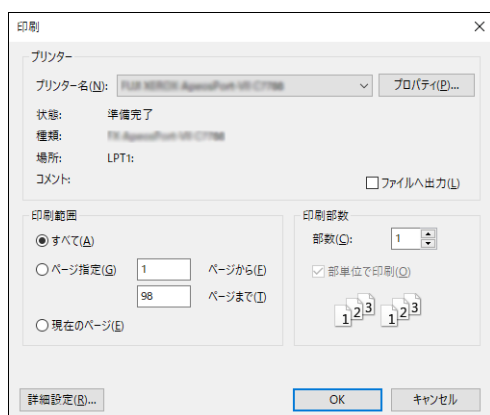


4 [プリント種類] で [通常プリント] を選択し、[OK] をクリックします。



5 [OK] をクリックします。

プリント指示した文書が、お使いの機械に蓄積されます。続いて、機械の前に移動して、蓄積された文書をプリントします。



複合機からのプリント

複合機から文書を選択し、プリントする手順について説明します。

複合機からのプリント（どこでもプライベートプリント）

操作手順

- 1 〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、User ID を入力し、[確定] を押して、認証モードに入ります。



補足

・ICカードを使用している場合は、ICカードをICカードリーダーにかざして、認証モードに入ります。

- 2 [どこでもプライベートプリント] を押します。



注記

プライベートプリントには、本機能のどこでもプライベートプリントのほか、既存のプライベートプリントや、「プライベートプリント（かんたん確認）」、「プライベートプリント（一括出力）」があり、それぞれアイコンのデザインが異なります。

- 3 [どこでもプライベートプリント] 画面からプリントする文書を選択します。



補足

- ・一度に複数の文書を選択できます。
- ・選択を解除する場合は、解除したい文書をもう一度選択します。
- ・プリントしたい文書が表示されていない場合は、文書リストの末尾に表示される「残りの文書を確認する」を押すと、さらに文書を検索します。



参照

[どこでもプライベートプリント] 画面が表示されたときに、文書を選択した状態にするかどうかを設定できます。詳しくは、「文書選択の初期設定」(P.18) を参照してください。

- 4 [プリント] を押します。



注記

- ・プリント指示の受け付けが完了するまでしばらくお待ちください。受け付けが完了する前にほかの操作を行うと、プリントできないことがあります。
- ・異なる機械に蓄積されている文書を一度にプリント指示した場合、タッチパネルディスプレイに表示された順序とは異なる順序でプリントされることがあります。



補足

- ・複数の文書を選択した場合、カラープリントの禁止などの理由により、プリントできる文書とプリントできない文書が混在していると、プリントできる文書のみプリントされます。
- ・一部の機種では、操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。

- 5 [閉じる] を押します。

- 6 認証を解除します。

複合機からのプリント（ID 選択プリント）

操作手順

- 1 [ID 選択プリント] を押します。
- 2 [ユーザー ID 選択 - ID 選択プリント] 画面からユーザー ID を選択します。



補足

・プリンタードライバーで蓄積用ユーザー ID を指定しなかった場合は、[(ユーザー ID なし)] に蓄積されます。

- ・グループ未登録機に蓄積されている文書の情報は取得できません。

3 暗証番号ありの文書のみが蓄積されているユーザー ID を選択した場合は、[暗証番号入力] 画面が表示されます。暗証番号を入力し、[決定] を押します。



補足

すべての文書が暗証番号なしの場合や、暗証番号あり / なし文書が混在して蓄積されている場合は、上記画面は表示されません。

4 [ID 選択プリント] 画面から、プリントする文書を選択します。



補足

- ・手順3で暗証番号を入力した場合は、その暗証番号に合致した文書が一覧で表示されます。
- ・暗証番号あり / なし文書が混在して蓄積されている場合は、暗証番号なしの文書が初期表示され、画面上部に [暗証番号入力] ボタンが表示されます。
この場合の詳しい操作については、「暗証番号あり / なし文書が混在して蓄積されている場合 (ID 選択プリント対象)」(P.32) を参照してください。

5 [プリント] を押します。



注記

- ・プリント指示の受け付けが完了するまでしばらくお待ちください。受け付けが完了する前にほかの操作を行うと、プリントできないことがあります。
- ・異なる機械に蓄積されている文書を一度にプリント指示した場合、タッチパネルディスプレイに表示された順序とは異なる順序でプリントされることがあります。



補足

- ・一部の機種では、操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。

6 [閉じる] を押します。

[どこでもプライベートプリント] 画面 / [ID 選択プリント] 画面

[どこでもプライベートプリント] 画面と [ID 選択プリント画面] の機能について説明します。

管理メニュー

画面下部の [管理メニュー] (一部の機種では、 ボタン) を押すと、管理者設定画面が表示されます。



参照

管理者設定画面については、「サーバーレスオンデマンドプリントの環境設定」(P.17) を参照してください。



補足

このボタンは、管理者権限のある認証ユーザーがログインした場合に表示されます。

表示する文書ドロップダウンリスト (プライベートプリント対象)

一覧に表示する文書について設定します。

[この複合機] を選択すると、お使いの機械に蓄積されている文書が一覧で表示されます。[すべての複合機] を選択すると、お使いの機械とリモート機に蓄積されているすべての文書が一覧で表示されます。[第 1 グループ] ~ [第 10 グループ] のいずれかを選択すると、該当グループの機械に蓄積されている文書が一覧で表示されます。



参照

この項目の初期値を設定できます。詳しくは、「[検索対象の複合機の初期設定] 画面 (プライベートプリント対象)」(P.22) を参照してください。



補足

グループ未登録機に蓄積されている文書の一覧を取得するには、[すべての複合機] を指定する必要があります。そのため、機械の登録台数によっては、文書の一覧が表示されるまでに時間がかかることがあります。

文書の表示順

文書の一覧を表示する順番を設定します。

画面右上のメニューから「日時の新しい順」または「日時の古い順」を選択します（一部の機種では、画面右上のドロップダウンリストから選択）。

更新

更新ボタン（）を押すと、最新の文書一覧が表示されます。

表示切り替え

画面右上のメニューから「リスト表示」または「サムネール表示」を選択すると（一部の機種では、左上の切り替えボタン）、一覧の表示方法（リスト表示/サムネール表示）を切り替えられます。

プレビュー

文書の右端の「i」ボタンを押し、[プレビュー]を押すと（一部の機種では、虫眼鏡アイコン）、文書の内容をプレビュー表示できます。スライダーを操作して、画像の拡大 / 縮小ができます。

文書一覧

各文書の文書名、ページ数、部数、蓄積日時、仕上がりイメージアイコンが表示されます。



補足

- ・ PostScript プリンタードライバーからプリントを指示した場合、[まとめて1枚]を設定すると、用紙の向きや画像の配置が、仕上がりイメージアイコンに正しく反映されないことがあります。このとき、仕上がりイメージアイコンは異なっていますが、原稿に合わせて、正しくプリントします。
- ・ Multi-model Print Driver 2 からプリントを指示した場合、仕上がりイメージアイコンに、[パンチ]の設定は反映されません。このとき、仕上がりイメージアイコンは異なっていますが、プリンタードライバーで設定したとおり、パンチ穴を開けてプリントします。
- ・ 文書のプリント設定によっては、仕上がりイメージアイコンの左端に、次のアイコンが表示される場合があります。対応していない設定の詳細は、「プリント設定の変更」（P.33）で確認できます。
 -  アイコン（制限付きでプリントできる文書）
お使いの機械は、このアイコンが付いている文書のプリント設定に対応していません。
 -  アイコン（プリントできない文書）
お使いの機械は、このアイコンが付いている文書をプリントできません。

すべて選択

一覧にあるすべての文書を選択します。

削除

選択中の文書を削除します。

設定変更

コンピューターで行ったプリント設定の詳細を確認したり、設定を変更したりできます。



参照

プリント設定の変更方法については、「プリント設定の変更」（P.33）を参照してください。

[ユーザー ID 選択 - ID 選択プリント] 画面（ID 選択プリント対象）

[ユーザー ID 選択 - ID 選択プリント] 画面の機能について説明します。

更新

最新のユーザー ID が表示されます。

複合機の指定

[この複合機]を選択すると、お使いの機械に蓄積されている文書のユーザー ID が一覧表示されます。

〔第 1 グループ〕～〔第 10 グループ〕のいずれかを選択すると、該当グループの機械に蓄積されている文書のユーザー ID が一覧表示されます。



参照

〔複合機の指定〕の初期選択を設定できます。詳しくは、「〔ユーザー ID 選択の複合機指定〕画面（ID 選択プリント対象）」（P.22）を参照してください。

表示順

ユーザー ID の一覧を表示する順番を表示します。

選択すると、〔名前の昇順〕または〔名前の降順〕に変更できます。



参照

〔表示順〕の初期選択を設定できます。詳しくは、「ユーザー ID 表示順の初期設定（ID 選択プリント対象）」（P.20）を参照してください。

検索

選択すると、キーボード画面が表示されます。

〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、検索するユーザー ID（一部可）を入力し、〔決定〕を押します。指定して文字列を含むユーザー ID のみが表示されます。全ユーザー ID の表示に戻す場合は、再度〔検索〕を押して、指定した文字列をクリアしてください。

暗証番号あり / なし文書が混在して蓄積されている場合（ID 選択プリント対象）

〔ID 選択プリント〕画面の〔暗証番号入力〕ボタンと〔暗証番号の取り消し〕ボタンで、表示文書を切り替えることができます。



補足

一部の機種では、ボタン名称が異なります。

● 暗証番号入力

〔暗証番号入力〕は、暗証番号なしの文書が表示されているときに表示されます。

このボタンを押すと、〔暗証番号入力〕画面が表示されます。文書の暗証番号を入力し、〔決定〕を押します。入力した暗証番号と合致する文書が一覧で表示されます。



補足

別の暗証番号の文書を表示したい場合には、〔暗証番号の取り消し〕を押して暗証番号なし文書の一覧を表示したあと、再度〔暗証番号入力〕を押して、別の暗証番号を入力します。

● 暗証番号の取り消し

〔暗証番号の取り消し〕は、暗証番号ありの文書が表示されているときに表示されます。

このボタンを押すと、機械に蓄積された暗証番号なしの文書が一覧で表示されます。



補足

一部の機種では、〔暗証番号入力〕ボタンと〔暗証番号の取り消し〕ボタンが表示されている場合にのみ、〔履歴からプリント〕ボタンと〔ジョブ一覧に戻る〕ボタンが画面右上のメニュー内に表示されます。このボタンで、〔履歴からプリント〕画面を表示できます。詳しくは、「プリント済み文書の再利用」（P.34）を参照してください。

プリントの中止

プリントを中止する手順について説明します。

操作手順

1 [ストップ] を押します。



補足

一部の機種では、操作パネルの〈ストップ〉ボタンを押します。

2 [中止] を押します。



補足

文書の一覧で、複数の文書を選択してプリントを開始した場合、プリントを中止すると、中止した文書が一覧に表示されないことがあります。しばらく待ってから[更新]を押すと、文書が表示されます。

プリント設定の変更

コンピューターで指示したプリントの設定内容を変更する手順について説明します。



補足

・プリント設定を変更すると、文書の一覧で他の文書を選択している場合、それらの文書の選択は解除されます。

操作手順

1 プリントの設定内容を変更したい文書を選択し、[設定変更] を押します。

2 任意の項目を設定します。



補足

カラープリントが禁止されたユーザーが、カラープリント文書を選択した場合、「[カラーモード] の設定を変更してください」と表示され、プリントできません。[カラーモード] で、プリント可能なカラーモードに変更すると、プリントできます。

3 [プリント] を押します。



注記

プリント指示の受け付けが完了するまでしばらくお待ちください。受け付けが完了する前にほかの操作を行うと、プリントできない場合があります。



補足

一部の機種では、[この文書をプリント] または操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。

4 [閉じる] を押します。

[設定変更] 画面

[設定変更] 画面では、次のプリント設定を変更できます。

プリント部数

部数を変更できます。部数は、9999 部まで入力できます。

数値は、次の方法で入力できます。

- 数値入力ボックスを選択したあと、表示された数字ボタン、または操作パネルの〈数字〉ボタンを使って入力する

**補足**

入力を間違えた場合は [C]、または操作パネルの〈クリア (C)〉ボタンを押して、入力し直します。入力後 [OK] を押すと、数字ボタンが非表示になります。

- [+], [-] を押して入力する

カラーモード

カラー文書を選択した場合、[カラー (自動判別)]、[白黒] から選択できます。

**補足**

お使いの機械がモノクロ機の場合、または白黒文書の場合は、設定できません。

両面プリント

[片面]、[両面 (短辺とじ)]、[両面 (長辺とじ)] から選択できます。

**補足**

文書が 1 ページの場合は、両面に変更できません。

まとめて 1 枚

コンピューターでまとめて 1 枚を指示した場合に、まとめて 1 枚の設定内容が表示されます。この項目は変更できません。

ホチキス

コンピューターでホチキスを指示した場合に、[あり]、または [中とじ] が表示されます。この項目は変更できません。

パンチ

コンピューターでパンチを指示した場合に、[あり] と表示されます。この項目は変更できません。

プリント済み文書の再利用

[履歴からプリント] 画面から、プリント済みの文書や転送中 / 転送済みの文書を選択し、プリントする手順について説明します。

**補足**

- ・[履歴からプリント] 画面は、管理者設定画面の [[履歴からプリント] の使用] で、[する] を選択しているときだけ表示できます。

操作手順

1 [履歴からプリント] を押します。

**補足**

一部の機種では、特定の状況で [履歴からプリント] ボタンが画面右上のメニュー内に表示されます。詳しくは、「暗証番号あり / なし文書が混在して蓄積されている場合 (ID 選択プリント対象)」(P.32) を参照してください。

2 [履歴からプリント] 画面で、プリントする文書を選択します。

**参照**

[履歴からプリント] 画面で表示される項目は、[どこでもプライベートプリント] または [ID 選択プリント] 画面と同じです。詳しくは、「複合機からのプリント」(P.29) を参照してください。

3 [プリント] を押します。

**注記**

- ・プリント指示の受け付けが完了するまでしばらくお待ちください。受け付けが完了する前にほかの操作を行うと、プリントできない場合があります。

- ・異なる機械に蓄積されている文書を一度にプリント指示した場合、タッチパネルディスプレイに表示された順序とは異なる順序でプリントされることがあります。



- ・一部の機種では、操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。
- ・複数の文書を選択した場合、カラープリントの禁止などの理由により、プリントできる文書とプリントできない文書が混在していると、プリントできる文書のみプリントされます。

4 「閉じる」を押します。

4 トラブル対処

お使いの機械に何らかのトラブルが発生した場合の処置について説明します。トラブルが発生した場合は、以下の表で状態を確認してください。

本機能が起動しない

どこでもプライベートプリントの場合

症状	原因 / 処置
[どこでもプライベートプリント] ボタンを押しても、[どこでもプライベートプリント] 画面が表示されない。	【原因】 本機能の情報取得に失敗しました。 【処置】 お使いの機械の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
ディスプレイに「機械管理者に連絡してください。セットアップが完了していません。機械管理者の権限でどこでもプライベートプリントの画面を開いてください。」と表示されている。	【原因】 本機能のセットアップが完了していません。 【処置】 機械管理者の権限で [どこでもプライベートプリント] を起動し、本表内の ----- ディスプレイに「セットアップを実行します。[実行] を押すとセットアップを開始し、終了後に本体を再起動します。再起動すると蓄積している文書はすべて削除されます。」と表示されている。 ----- を参照してください。
ディスプレイに「セットアップを実行します。[実行] を押すとセットアップを開始し、終了後に本体を再起動します。再起動すると蓄積している文書はすべて削除されます。」と表示されている。	【原因】 本機能のセットアップが完了していません。 【処置】 [実行] を押してください。セットアップを開始し、終了後に本体を再起動します。
ディスプレイに「どこでもプライベートプリントに必要な情報を取得できませんでした。どこでもプライベートプリントを再起動します。よろしいですか？」 [はい (再起動する)] [いいえ (メニューに戻る)] 何度も続くときは、テレフォンセンターに連絡してください。」と表示されている。	【原因】 本機能の情報取得に失敗しました。 【処置】 本機能を再起動してください。すぐ再起動する場合は、操作パネルのディスプレイに表示されている [はい (再起動する)] を押してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。再起動せずにメニュー画面に戻る場合は [いいえ (メニューに戻る)] を押してください。
ディスプレイに「通信できる機器がありません」と表示されている。	【原因】 お使いの機械とリモート機の [秘密情報の暗号化キー]、および [IP 動作モード] が一致していません。 【処置】 お使いの機械とリモート機の [秘密情報の暗号化キー]、および [IP 動作モード] が同じになるように設定してください。

ID 選択プリントの場合

症状	原因 / 処置
[ID 選択プリント] ボタンを押しても、[ID 選択プリント] 画面が表示されない。	【原因】 本機能の情報取得に失敗しました。 【処置】 お使いの機械の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
[ユーザー ID 選択 - ID 選択プリント] 画面に自身のユーザー ID が表示されない	【原因】 次の原因が考えられます。 1. 文書の蓄積が完了していません。 2. 複合機の指定が正しくありません。 3. ジョブを送信した複合機がどのグループにも所属していません。 【処置】 1. については、しばらく待ってから、もう一度操作してください。それでも状態が改善されないときは、リモート機の [ジョブ確認] 画面で文書の状態を確認してください。 2. については、[ユーザー ID 選択 - ID 選択プリント] 画面の [複合機の指定] でジョブを送信した複合機が所属するグループを指定してください。 3. については、ジョブを送信した複合機にグループを設定してください。
ディスプレイに「通信できない複合機があります。ユーザー ID の情報を取得できませんでした。」と表示されている。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. リモート機との HTTP 通信時にエラーが発生しました。 2. 以下の設定がお使いの機械とリモート機とで一致していません。 ・時刻 ・機械管理者 ID ・機械管理者パスワード 3. 接続タイムアウト時間内にリモート機に接続できませんでした。 4. お使いの機械とリモート機の秘密情報の暗号化キー、及び IP 動作モードとで一致していません。 【処置】 1. については、お使いの機械とリモート機の SSL 設定とポート設定が一致していることを確認してください。 2. については、お使いの機械とリモート機とで上記の設定をすべて一致させてください。 3. については、接続タイムアウト時間を長くしてください。 4. については、お使いの機械とリモート機の秘密情報の暗号化キー、及び IP 動作モードが同じになるように設定してください。
ディスプレイに「一致するユーザー ID はありませんでした。」と表示されている。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. [ユーザー ID 選択 - ID 選択プリント] 画面の [検索] で入力された文字が含まれる、ユーザー ID が見つかりません。 2. 文書の蓄積が完了していません。 【処置】 1. については、入力した検索文字が正しいか確認してください。 2. については、しばらく待ってから、もう一度操作してください。それでも状態が改善されないときは、リモート機の [ジョブ確認] 画面で文書の状態を確認してください。

症状	原因 / 処置
ディスプレイに「認証ユーザーはこの機能を使用できません。」と表示されている。	【原因】 ID 選択プリントは、[認証方式の設定] で [認証しない] 以外に設定している場合や、IC カードを使用している場合は利用できません。 【処置】 サーバーレスオンデマンドプリントキットに同梱されている、「どこでもプライベートプリント」を使用してください。
ディスプレイに「セットアップを実行します。[実行]を押すとセットアップを開始し、終了後に本体を再起動します。再起動すると蓄積している文書はすべて削除されます。」と表示されている。	【原因】 本機能のセットアップが完了していません。 【処置】 [実行] を押してください。セットアップを開始し、終了後に本体を再起動します。
ディスプレイに「ID 選択プリントに必要な情報を取得できませんでした。ID 選択プリントを再起動します。よろしいですか？ [はい (再起動する)] [いいえ (メニューに戻る)] 何度も続くときは、テレフォンセンターに連絡してください。」と表示されている。	【原因】 本機能の情報取得に失敗しました。 【処置】 本機能を再起動してください。すぐ再起動する場合は、操作パネルのディスプレイに表示されている [はい (再起動する)] を押してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。再起動せずにメニュー画面に戻る場合は [いいえ (メニューに戻る)] を押してください。

文書が表示されない

どこでもプライベートプリントの場合

症状	原因 / 処置
ディスプレイに「通信できない複合機があります。プリント可能な文書の情報を取得できませんでした。」と表示されている。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. リモート機との HTTP 通信時にエラーが発生しました。 2. 以下の設定がお使いの機械とリモート機とで一致していません。 ・時刻 ・機械管理者 ID ・機械管理者パスワード 3. 接続タイムアウト時間内にリモート機に接続できませんでした。 4. お使いの機械とリモート機の秘密情報の暗号化キー、及び IP 動作モードとで一致していません。 【処置】 1. については、お使いの機械とリモート機の SSL 設定とポート設定が一致していることを確認してください。 2. については、お使いの機械とリモート機とで上記の設定をすべて一致させてください。 3. については、接続タイムアウト時間を長くしてください。 4. については、お使いの機械とリモート機の秘密情報の暗号化キー、及び IP 動作モードが同じになるように設定してください。

症状	原因 / 処置
ディスプレイに 「認証に失敗しました。 複合機のアドレスは以下の とおりです。 アドレス： XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX」 と表示されている。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. 以下の設定がお使いの機械とリモート機とで一致していません。 ・機械管理者 ID ・機械管理者パスワード 2. リモート機が旧機種のため接続できませんでした。 【処置】 1. お使いの機械とリモート機とで上記の設定をすべて一致させてください。 2. 本体の設定を旧機種互換モードに設定してください。
ディスプレイに 「通信できない複合機があり ます。 プリント可能な文書の情報を 取得できませんでした。 複合機のアドレスは以下の とおりです。 アドレス： XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX」 と表示されている。	【原因】 接続タイムアウト時間内にリモート機に接続できませんでした。 【処置】 リモート機の電源が入っているか、確認してください。電源が入っている場合は、接続タイムアウト時間を長くしてください。
ディスプレイに 「複合機の設定時刻が一致し ないため、プリント可能な文書 の情報を取得できませんでした。 複合機のアドレスは以下の とおりです。 アドレス： XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX」 と表示されている。	【原因】 時刻の設定が、お使いの機械とリモート機とで一致していません。 【処置】 お使いの機械とリモート機とで、時刻の設定を一致させてください。
ディスプレイに「この複合機ま たは、ほかの複合機にプリント 可能な文書が大量に存在する ため文書の情報を表示できま せんでした。」と表示されてい る。	【原因】 お使いの機械または検索したリモート機に蓄積されているジョブの数が 99 件を超えています。 【処置】 文書をプリントして、蓄積されている文書の数を減らしてください。プリント後に再度リストを表示すれば残りの文書が表示されます。
ディスプレイに「この複合機ま たは、ほかの複合機にプリント 可能な文書が大量に存在する ため495文書まで表示します。」 と表示されている。	【原因】 お客様のジョブを検索した結果、取得したジョブの数が 495 件を超えました。 【処置】 文書をプリントして、蓄積されている文書の数を減らしてください。プリント後に再度リストを表示すれば残りの文書が表示されます。
ディスプレイに 「通信できない複合機があるた め情報を取得できませんでした。 文書が大量に存在するため文 書の情報を表示できませんでした。」 と表示されている。	「通信できない複合機があるため情報を取得できませんでした。」については、本表内の ----- ディスプレイに「通信できない複合機があります。プリント可能な文書の情報を取得できませんでした。」と表示されている。 ----- を参照してください。 「文書が大量に存在するため文書の情報を表示できませんでした。」については、本表内の ----- ディスプレイに「この複合機または、ほかの複合機にプリント可能な文書が大量に存在するため文書の情報を表示できませんでした。」と表示されている。 ----- を参照してください。

症状	原因 / 処置
ディスプレイに「通信できない複合機があるため情報を取得できませんでした。文書が大量に存在するため495文書まで表示します。」と表示されている。	「通信できない複合機があるため情報を取得できませんでした。」については、本表内の ----- ディスプレイに「通信できない複合機があります。プリント可能な文書の情報を取得できませんでした。」と表示されている。 ----- を参照してください。 「文書が大量に存在するため 495 文書まで表示します。」については、本表内の ----- ディスプレイに「この複合機または、ほかの複合機にプリント可能な文書が大量に存在するため495文書まで表示します。」と表示されている。 ----- を参照してください。
上記以外で、蓄積されている文書の一部が、文書一覧に表示されない。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. お使いの機械または検索したリモート機に蓄積されているジョブの数が 99 件を超えています。 2. お客様のジョブを検索した結果、取得したジョブの数が 495 件を超えました。 3. 「文書が見つかったら停止」を指定して複数のジョブを検索したため、最初の文書を見つけたあと検索動作が停止しました。 【処置】 1. と 2. については、文書をプリントして、蓄積されている文書の数を減らしてください。プリント後に再度リストを表示すると、残りの文書が表示されます。 3. については、管理者設定画面の「文書の検索動作」を「すべての複合機を検索」に設定してジョブを検索してください。ジョブの検索に時間がかかる場合は、よく利用するリモート機からグループを設定するなど、使用状況を考慮してグループを設定してください。
ディスプレイに「どこでもプライベートプリントに必要な情報を取得できませんでした。どこでもプライベートプリントを再起動します。よろしいですか？」 「はい（再起動する）」 「いいえ（再起動しない）」 何度も続くときは、テレフォンセンターに連絡してください。」と表示されている。	【原因】 本機能の情報取得に失敗しました。 【処置】 本機能を再起動してください。すぐ再起動する場合は、操作パネルのディスプレイに表示されている「はい（再起動する）」を押してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。再起動せずに元の画面に戻る場合は「いいえ（再起動しない）」を押してください。

ID 選択プリントの場合

症状	原因 / 処置
ディスプレイに「通信できない複合機があります。プリント可能な文書の情報を取得できませんでした。」と表示されている。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. リモート機との HTTP 通信時にエラーが発生しました。 2. 以下の設定がお使いの機械とリモート機とで一致していません。 ・時刻 ・機械管理者 ID ・機械管理者パスワード 3. 接続タイムアウト時間内にリモート機に接続できませんでした。 4. お使いの機械とリモート機の秘密情報の暗号化キー、及び IP 動作モードとで一致していません。 【処置】 1. については、お使いの機械とリモート機の SSL 設定とポート設定が一致していることを確認してください。 2. については、お使いの機械とリモート機とで上記の設定をすべて一致させてください。 3. については、接続タイムアウト時間を長くしてください。 4. については、お使いの機械とリモート機の秘密情報の暗号化キー、及び IP 動作モードが同じになるように設定してください。
ディスプレイに「認証に失敗しました。複合機のアドレスは以下のとおりです。アドレス：XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX」と表示されている。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. 以下の設定がお使いの機械とリモート機とで一致していません。 ・機械管理者 ID ・機械管理者パスワード 2. リモート機が旧機種のため接続できませんでした。 【処置】 1. お使いの機械とリモート機とで上記の設定をすべて一致させてください。 2. 本体の設定を旧機種互換モードに設定してください。
ディスプレイに「通信できない複合機があります。プリント可能な文書の情報を取得できませんでした。複合機のアドレスは以下のとおりです。アドレス：XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX」と表示されている。	【原因】 接続タイムアウト時間内にリモート機に接続できませんでした。 【処置】 リモート機の電源が入っているか、確認してください。電源が入っている場合は、接続タイムアウト時間を長くしてください。
ディスプレイに「複合機の設定時刻が一致しないため、プリント可能な文書の情報を取得できませんでした。複合機のアドレスは以下のとおりです。アドレス：XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX」と表示されている。	【原因】 時刻の設定が、お使いの機械とリモート機とで一致していません。 【処置】 お使いの機械とリモート機とで、時刻の設定を一致させてください。

症状	原因 / 処置
ディスプレイに「この複合機または、ほかの複合機にプリント可能な文書が大量に存在するため文書の情報を表示できませんでした。」と表示されている。	【原因】 お使いの機械または検索したリモート機に蓄積されているジョブの数が 99 件を超えています。 【処置】 文書をプリントして、蓄積されている文書の数を減らしてください。プリント後に再度リストを表示すれば残りの文書が表示されます。
ディスプレイに「この複合機または、ほかの複合機にプリント可能な文書が大量に存在するため495文書まで表示します。」と表示されている。	【原因】 お客様のジョブを検索した結果、取得したジョブの数が 495 件を超えました。 【処置】 文書をプリントして、蓄積されている文書の数を減らしてください。プリント後に再度リストを表示すれば残りの文書が表示されます。
ディスプレイに「通信できない複合機があるため情報を取得できませんでした。文書が大量に存在するため文書の情報を表示できませんでした。」と表示されている。	「通信できない複合機があるため情報を取得できませんでした。」については、本表内の ----- ディスプレイに「通信できない複合機があります。プリント可能な文書の情報を取得できませんでした。」と表示されている。 ----- を参照してください。 「文書が大量に存在するため文書の情報を表示できませんでした。」については、本表内の ----- ディスプレイに「この複合機または、ほかの複合機にプリント可能な文書が大量に存在するため文書の情報を表示できませんでした。」と表示されている。 ----- を参照してください。
ディスプレイに「通信できない複合機があるため情報を取得できませんでした。文書が大量に存在するため495文書まで表示します。」と表示されている。	「通信できない複合機があるため情報を取得できませんでした。」については、本表内の ----- ディスプレイに「通信できない複合機があります。プリント可能な文書の情報を取得できませんでした。」と表示されている。 ----- を参照してください。 「文書が大量に存在するため 495 文書まで表示します。」については、本表内の ----- ディスプレイに「この複合機または、ほかの複合機にプリント可能な文書が大量に存在するため495文書まで表示します。」と表示されている。 ----- を参照してください。
上記以外で、蓄積されている文書の一部が、文書一覧に表示されない。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. お使いの機械または検索したリモート機に蓄積されているジョブの数が 99 件を超えています。 2. お客様のジョブを検索した結果、取得したジョブの数が 495 件を超えました。 【処置】 1. と 2. については、文書をプリントして、蓄積されている文書の数を減らしてください。プリント後に再度リストを表示すると、残りの文書が表示されます。
ディスプレイに「暗証番号が正しくありません。もう一度入力しなおして、[決定] を押してください。」と表示されている。	【原因】 [暗証番号入力] 画面で入力した、暗証番号が正しくありません。 【処置】 [暗証番号入力] 画面で、正しい暗証番号を入力し、[決定] を押します。

症状	原因 / 処置
ディスプレイに 「ID 選択プリントに必要な情報を取得できませんでした。 ID 選択プリントを再起動します。よろしいですか？」 [はい (再起動する)] [いいえ (再起動しない)] 何度も続くときは、テレフォンセンターに連絡してください。」 と表示されている。	【原因】 本機能の情報取得に失敗しました。 【処置】 本機能を再起動してください。すぐ再起動する場合は、操作パネルのディスプレイに表示されている [はい (再起動する)] を押してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。再起動せずに元の画面に戻る場合は [いいえ (再起動しない)] を押してください。

プリントできない

どこでもプライベートプリントの場合

症状	原因 / 処置
プリントしたい文書に  アイコンが付いている。	【原因】 出力しようとした機械が、文書のプリント言語に対応していません。 【処置】 文書のプリント言語に対応している機械から、もう一度プリントを実行してください。
ディスプレイに 「プリントを開始できません。」 と表示されている。	【原因】 本機能の情報取得に失敗しました。 【処置】 お使いの機械の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
ディスプレイに 「プリント開始できません。この文書は処理中です。しばらく待ってから、もう一度操作してください。」 と表示されている。	【原因】 処理中の文書を指定したため、文書をプリントできませんでした。 【処置】 しばらく待ってから、もう一度操作してください。それでも状態が改善されないときは、機械の設定が正しくない可能性があります。弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
ディスプレイに 「指定した文書はありません。」 と表示されている。	【原因】 指定した文書は、すでにプリント実行されたか、削除されました。 【処置】 [ジョブ確認] 画面で、文書の状態を確認してください。
ディスプレイに 「プリントしたい文書を選択して [スタート] ボタンを押してください。」 と表示されている。	【原因】 文書を選択せずに、[プリント] または操作パネルの〈スタート〉ボタンを押しています。 【処置】 プリントする文書を1つ以上選択してから、[プリント] または〈スタート〉ボタンを押してください。
ディスプレイに 「あなたはカラー文書のプリントが禁止されています。[カラーモード] の設定を変更してください。」 と表示されている。	【原因】 お客様はカラープリントが禁止されているため、カラー文書はプリントできません。 【処置】 プリント設定の変更画面で、[カラーモード] を、プリント可能なカラーモードに変更してください。

症状	原因 / 処置
ディスプレイに 「ジョブの実行中またはデータ 受信中にその操作はできません。 操作待ちや異常停止中ジョ ブがあれば対処する必要があります。 [ジョブ確認] 画面で 確認してください。」 と表示されている。	【原因】 ジョブの実行中、またはデータの受信中のため、本機能のセッ トアップが実行できません。 【処置】 実行中のジョブ、またはデータの受信が終了してから、もう 一度操作してください。それでも状態が改善されないときは、 実行待ちや異常停止中のジョブがあるかどうかを [ジョブ確 認] 画面で確認してください。
ディスプレイに 「文書のプリントを中止しまし た。同時に処理できるジョブ数 を超えています。実行中のジョ ブが終了するのを待って、もう 一度操作してください。このエ ラーが続けて表示される場合 は、操作待ちや異常停止中の ジョブがあるかどうかを [ジョ ブ確認] 画面で確認してくださ い。」 と表示されている。	【原因】 お使いの機械が同時に処理できるジョブの数を超過しました。 【処置】 実行中のジョブが終了してから、もう一度操作してください。 それでも状態が改善されないときは、実行待ちや異常停止中 のジョブがあるかどうかを [ジョブ確認] 画面で確認してく ださい。
お使いの機械からリモート機 のジョブをプリント指示した が、しばらくしてもプリントが 開始されない。	【原因】 プリント指示したジョブを蓄積しているリモート機でエラー が発生しました。 【処置】 リモート機のエラーを解除して、もう一度プリント指示を 行ってください。
ディスプレイに 「選択した文書が蓄積された複 合機で異常が発生しました。機 械管理者に連絡してください。 複合機のアドレスは以下のと おりです。 アドレス： XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX」 と表示されている。	【原因】 プリント指示したジョブを蓄積しているリモート機でエラー が発生しました。 【処置】 リモート機のエラーを解除してから、プリント指示をしてく ださい。それでも状態が改善されないときは、弊社のカス トマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
ディスプレイに 「どこでもプライベートプリン トに必要な情報を取得できま せんでした。 どこでもプライベートプリン トを再起動します。よろしいで すか？ [はい (再起動する)] [いいえ (再起動しない)] 何度も続くときは、テレフォン センターに連絡してくださ い。」 と表示されている。	【原因】 本機能の情報取得に失敗しました。 【処置】 本機能を再起動してください。すぐ再起動する場合は、操作 パネルのディスプレイに表示されている [はい (再起動する)] を押してください。それでも状態が改善されないときは、弊 社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡く ださい。再起動せずに元の画面に戻る場合は [いいえ (再起 動しない)] を押してください。
ディスプレイに 「選択されている文書はこの複 合機ではプリントできません。」 と表示されている。	【原因】 選択した文書は、上記以外の何らかの理由でプリントできま せん。 【処置】 他の機械から、再度プリントを実行してください。それでも プリントできない場合は、お使いの機械でプリントできない 文書ですので、ジョブを削除してください。

ID 選択プリントの場合

症状	原因 / 処置
プリントしたい文書に ⚠️ アイコンが付いている。	【原因】 出力しようとした機械が、文書のプリント言語に対応していません。 【処置】 文書のプリント言語に対応している機械から、もう一度プリントを実行してください。
ディスプレイに「プリントを開始できません。」と表示されている。	【原因】 本機能の情報取得に失敗しました。 【処置】 お使いの機械の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
ディスプレイに「プリント開始できません。この文書は処理中です。しばらく待ってから、もう一度操作してください。」と表示されている。	【原因】 処理中の文書を指定したため、文書をプリントできませんでした。 【処置】 しばらく待ってから、もう一度操作してください。それでも状態が改善されないときは、機械の設定が正しくない可能性があります。弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
ディスプレイに「指定した文書はありません。」と表示されている。	【原因】 指定した文書は、すでにプリント実行されたか、削除されました。 【処置】 [ジョブ確認] 画面で、文書の状態を確認してください。
ディスプレイに「プリントしたい文書を選択して [スタート] ボタンを押してください。」と表示されている。	【原因】 文書を選択せずに、[プリント] または操作パネルの〈スタート〉ボタンを押しています。 【処置】 プリントする文書を1つ以上選択してから、[プリント] または〈スタート〉ボタンを押してください。
ディスプレイに「あなたはカラー文書のプリントが禁止されています。[カラーモード] の設定を変更してください。」と表示されている。	【原因】 お客様はカラープリントが禁止されているため、カラー文書はプリントできません。 【処置】 プリント設定の変更画面で、[カラーモード] を、プリント可能なカラーモードに変更してください。
ディスプレイに「ジョブの実行中またはデータ受信中にその操作はできません。操作待ちや異常停止中ジョブがあれば対処する必要があります。[ジョブ確認] 画面で確認してください。」と表示されている。	【原因】 ジョブの実行中、またはデータの受信中のため、本機能のセットアップが実行できません。 【処置】 実行中のジョブ、またはデータの受信が終了してから、もう一度操作してください。それでも状態が改善されないときは、実行待ちや異常停止中のジョブがあるかどうかを [ジョブ確認] 画面で確認してください。
ディスプレイに「文書のプリントを中止しました。同時に処理できるジョブ数を超えています。実行中のジョブが終了するのを待って、もう一度操作してください。このエラーが続けて表示される場合は、操作待ちや異常停止中のジョブがあるかどうかを [ジョブ確認] 画面で確認してください。」と表示されている。	【原因】 お使いの機械が同時に処理できるジョブの数を超えました。 【処置】 実行中のジョブが終了してから、もう一度操作してください。それでも状態が改善されないときは、実行待ちや異常停止中のジョブがあるかどうかを [ジョブ確認] 画面で確認してください。

症状	原因 / 処置
お使いの機械からリモート機のジョブをプリント指示したが、しばらくしてもプリントが開始されない。	【原因】 プリント指示したジョブを蓄積しているリモート機でエラーが発生しました。 【処置】 リモート機のエラーを解除して、もう一度プリント指示を行ってください。
ディスプレイに「選択した文書が蓄積された複合機で異常が発生しました。機械管理者に連絡してください。複合機のアドレスは以下のとおりです。アドレス：XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX」が表示されている。	【原因】 プリント指示したジョブを蓄積しているリモート機でエラーが発生しました。 【処置】 リモート機のエラーを解除してから、プリント指示をしてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
ディスプレイに「ID 選択プリントに必要な情報を取得できませんでした。ID 選択プリントを再起動します。よろしいですか？ [はい (再起動する)] [いいえ (再起動しない)] 何度も続くときは、テレフォンセンターに連絡してください。」と表示されている。	【原因】 本機能の情報取得に失敗しました。 【処置】 本機能を再起動してください。すぐ再起動する場合は、操作パネルのディスプレイに表示されている [はい (再起動する)] を押してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。再起動せずに元の画面に戻る場合は [いいえ (再起動しない)] を押してください。
ディスプレイに「選択されている文書はこの複合機ではプリントできません。」と表示されている。	【原因】 選択した文書は、上記以外の何らかの理由でプリントできません。 【処置】 他の機械から、再度プリントを実行してください。それでもプリントできない場合は、お使いの機械でプリントできない文書ですので、ジョブを削除してください。

思ったとおりのプリント結果にならない

症状	原因 / 処置
プリントしたい文書に  アイコンが付いている。	【原因】 出力しようとした機械が、指定した文書のプリント設定に対応していません。 【処置】 指定した文書のプリント設定に対応している機械から、再度プリントを実行してください。詳しくは、「文書一覧」(P.31) の補足を参照してください。

文書が削除できない

どこでもプライベートプリントの場合

症状	原因 / 処置
ディスプレイに 「削除できなかった文書があります。 削除できなかった文書数： XXX/XXX」 と表示されている。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. 処理中の文書を指定したため、文書を削除できませんでした。 2. 接続タイムアウト時間内にリモート機に接続できませんでした。 【処置】 1. については、しばらく待ってから、もう一度操作してください。 2. については、もう一度同じ操作を行ってください。それでも状態が改善されないときは、接続タイムアウト時間を長くしてください。
ディスプレイに 「文書を削除できません。この文書は処理中です。しばらく待ってから、もう一度操作してください。」 と表示されている。	【原因】 処理中の文書を指定したため、文書を削除できませんでした。 【処置】 しばらく待ってから、もう一度操作してください。
ディスプレイに 「複合機と通信できなかったため、文書を削除できませんでした。機械管理者に連絡してください。複合機のアドレスは以下のとおりです。 アドレス： XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX」 と表示されている。	【原因】 接続タイムアウト時間内にリモート機に接続できませんでした。 【処置】 もう一度同じ操作を行ってください。それでも状態が改善されないときは、接続タイムアウト時間を長くしてください。
ディスプレイに 「選択した文書が蓄積された複合機で異常が発生しました。機械管理者に連絡してください。複合機のアドレスは以下のとおりです。 アドレス： XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX」 と表示されている。	【原因】 削除指示したジョブを蓄積しているリモート機が、機械管理者モードになっているか、またはエラーが発生しています。 【処置】 リモート機の認証、またはエラーを解除してから、文書の削除指示をしてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
ディスプレイに 「機械内部に異常が発生しました。テレフォンセンターに連絡してください。」 と表示されている。	【原因】 お使いの機械内部でエラーが発生しました。 【処置】 お使いの機械の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。再度文書の削除指示をしても状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

症状	原因 / 処置
ディスプレイに 「どこでもプライベートプリントに必要な情報を取得できませんでした。どこでもプライベートプリントを再起動します。よろしいですか？」 [はい (再起動する)] [いいえ (再起動しない)] 何度も続くときは、テレフォンセンターに連絡してください。」 と表示されている。	【原因】 本機能の情報取得に失敗しました。 【処置】 本機能を再起動してください。すぐ再起動する場合は、操作パネルのディスプレイに表示されている [はい (再起動する)] を押してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。再起動せずに元の画面に戻る場合は [いいえ (再起動しない)] を押してください。

ID 選択プリントの場合

症状	原因 / 処置
ディスプレイに 「削除できなかった文書があります。 削除できなかった文書数： XXX/XXX」 と表示されている。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. 処理中の文書を指定したため、文書を削除できませんでした。 2. 接続タイムアウト時間内にリモート機に接続できませんでした。 【処置】 1. については、しばらく待ってから、もう一度操作してください。 2. については、もう一度同じ操作を行ってください。それでも状態が改善されないときは、接続タイムアウト時間を長くしてください。
ディスプレイに 「文書を削除できません。この文書は処理中です。しばらく待ってから、もう一度操作してください。」 と表示されている。	【原因】 処理中の文書を指定したため、文書を削除できませんでした。 【処置】 しばらく待ってから、もう一度操作してください。
ディスプレイに 「複合機と通信できなかったため、文書を削除できませんでした。機械管理者に連絡してください。複合機のアドレスは以下のとおりです。 アドレス： XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX」 と表示されている。	【原因】 接続タイムアウト時間内にリモート機に接続できませんでした。 【処置】 もう一度同じ操作を行ってください。それでも状態が改善されないときは、接続タイムアウト時間を長くしてください。
ディスプレイに 「選択した文書が蓄積された複合機で異常が発生しました。機械管理者に連絡してください。複合機のアドレスは以下のとおりです。 アドレス： XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX」 と表示されている。	【原因】 削除指示したジョブを蓄積しているリモート機が、機械管理者モードになっているか、またはエラーが発生しています。 【処置】 リモート機の認証、またはエラーを解除してから、文書の削除指示をしてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

症状	原因 / 処置
ディスプレイに「機械内部に異常が発生しました。テレフォンセンターに連絡してください。」と表示されている。	【原因】 お使いの機械内部でエラーが発生しました。 【処置】 お使いの機械の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。再度文書の削除指示をしても状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
ディスプレイに「ID 選択プリントに必要な情報を取得できませんでした。ID 選択プリントを再起動します。よろしいですか？」 〔はい（再起動する）〕 〔いいえ（再起動しない）〕 何度も続くときは、テレフォンセンターに連絡してください。」と表示されている。	【原因】 本機能の情報取得に失敗しました。 【処置】 本機能を再起動してください。すぐ再起動する場合は、操作パネルのディスプレイに表示されている〔はい（再起動する）〕を押してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。再起動せずに元の画面に戻る場合は〔いいえ（再起動しない）〕を押してください。

環境設定が変更できない

症状	原因 / 処置
ディスプレイに「設定を変更できませんでした。もう一度〔決定〕を押してください。」と表示されている。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. 設定内容が正しくないため、変更できませんでした。 2. 機械内部でエラーが発生しました。 3. お使いの機械とリモート機とで SSL 設定とポート設定が一致していません。 【処置】 1. については、設定内容が正しいか確認してください。 2. については、しばらく待ってから、もう一度操作をしてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。 3. については、お使いの機械とリモート機とで SSL 設定とポート設定を一致させてください。
ディスプレイに「重複したアドレスがあります。入力されたアドレスはクリアされます。」と表示されている。	【原因】 [複合機の登録] 画面の [IP アドレス / ホスト名] で、他の機械と重複した IP アドレスを入力しています。 【処置】 IP アドレスを確認してください。
ディスプレイに「選択されたグループには登録できません。1 つのグループに登録できる複合機は 10 台までです。」と表示され、グループ設定が「-」に変更される。	【原因】 [複合機の登録] 画面で、1 つのグループに 11 台以上の機械を登録しようとしてしました。 【処置】 1 つのグループに登録する機械は 10 台以下にしてください。

接続テストに失敗する機械が存在する

症状	原因 / 処置
接続テストに失敗した。 接続テストに失敗した機械に  アイコンが付いている。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. リモート機の電源が入っていません。 2. 以下の設定がお使いの機械とリモート機とで一致していません。 ・時刻 ・機械管理者 ID ・機械管理者パスワード 3. ネットワーク接続設定に誤りがあるか、ネットワークケーブルが物理的に接続されていません。 4. [複合機の登録] 画面の SSL またはポート設定に誤りがあります。 5. リモート機が旧機種のため接続できませんでした。 【処置】 1. については、機械の電源を入れてください。 2. については、お使いの機械とリモート機とで上記の設定をすべて一致させてください。 3. については、ネットワーク設定とネットワークケーブルの接続状態を確認してください。 4. については、SSL とポート設定を確認してください。 5. については、本体の設定を旧機種互換モードに設定してください。

コンテンツ情報の確認

本機能のコンテンツのバージョン情報を確認できます。また、お問い合わせ時に、本機能のコンテンツ情報が必要な場合があります。次の手順に従って、コンテンツ情報を確認してください。

操作手順

- 1 プリントする文書を選択する画面で、[バージョン情報] を押します。



補足

一部の機種では、操作パネルの〈ポーズ〉ボタンを押します。

- 2 コンテンツ情報を確認します。



補足

ピリオドで区切られた 3 桁の数値のうち、左 2 桁がバージョン情報です。

- 3 [閉じる] を押します。

5 バージョンアップについて

Management Console、または複合機追加型アプリケーション更新を使用することで本アプリケーションをバージョンアップ（アップデート）できます。



注記

- ・ Management Console からバージョンアップするためには、あらかじめ対象の有償商品がインストールされている必要があります。

Management Console によるバージョンアップ

Management Console の対応機種やダウンロードは弊社公式サイトの商品情報のページをご覧ください。

インストール方法および利用方法は、商品情報ページからダウンロードページへ移動し、「ご利用に際して」ページにある「Management Console readme」をご覧ください。

複合機追加型アプリケーション更新によるバージョンアップ

複合機追加型アプリケーション更新の利用方法は、複合機追加型アプリケーション更新の取扱説明書をご覧ください。



注記

- ・ 複合機追加型アプリケーション更新の手動更新画面からバージョンアップを行う場合、必ず次のアプリケーションを選択（1 つしか表示されない場合は、表示されたアプリケーションを選択）して、バージョンアップしてください。
 - どこでもプライベートプリント
 - ID 選択プリント

6 注意 / 制限事項について

本機能を使用するうえでの注意 / 制限

機械の使用上の注意 / 制限

- 本機能を利用する場合、機械のウォームアップ時間が通常よりも数秒長くなります。
- お使いの機械とリモート機の初期表示言語を一致させてください。
- お使いの機械とリモート機の認証方式の設定を一致させてください。
- お使いの機械とリモート機の機械管理者 ID と機械管理者パスワードを一致させてください。
- お使いの機械とリモート機の時刻を一致させてください。設定された時刻に差があると、文書の一覧を正しく取得できない場合があります。時刻サーバー（NTP:Network Time Protocol）と同期すると、お使いの機械とリモート機の時刻を一致させることができます。時刻サーバーとの同期の設定のしかたは、お使いの機械のマニュアルを参照してください。
- お使いの機械とリモート機の秘密情報の暗号化キー、および IP 動作モードが同じになるように設定してください。
- セカンダリーネットワーク（オプション）を使用できる機械をお使いの場合、本機能を使用するときは、本機およびリモート機の IP アドレスには、プライマリーネットワークのアドレスを設定してください。
- 本機能は、セキュリティプリント機能との併用はできません。
- お使いの機械およびリモート機から、お客様自身がサーバーレスオンデマンドプリントをアンインストールした場合は、設定情報作成ツールの撤収機能による再設定が必要です。詳しくは、『サーバーレスオンデマンドプリント設定情報作成ツール取扱説明書 V5.0 用』を参照してください。
- どこでもプライベートプリントを外部認証で運用している場合、ユーザー ID に ASCII 以外の文字を使用していると、文書の一覧が正しく取得できないことがあります。

プリント機能の使用上の注意 / 制限

- 本機能では、複数の文書を一度にプリントする場合でも、ジョブが1件ごとに送信されるため、通常と比べてプリントに時間がかかることがあります。
また、複数の文書をプリント中にファクスを受信した場合は、実行中のプリントの合間にファクス文書をプリントします。ファクス文書の割り込みをさせない場合は、設定を変更してください。
- 文書のプリント中、および削除中に、自動リセットされてジョブが途中で中止されてしまうことがあります。
その場合は、[設定] 画面の [システム設定] > [システム時計 / タイマー設定] > [自動リセット] で、リセットされるまでの時間を長くするか、または [しない] を選択してください。
- プリント中のジョブは、リモート機でも、[ジョブ確認] 画面の [実行中 / 待ち] タブから通常のジョブと同じ方法で処理できます。リモート機でプリント中のジョブを削除したり、キャンセルしたりしないようにご注意ください。
- 複数の機械から同時にプリント指示を行うと、プリントが開始されるまでに時間がかかることがあります。
- 異なる機械に蓄積されている文書を一度にプリント指示した場合、タッチパネルディスプレイに表示された順序とは異なる順序でプリントされることがあります。
- 本機能を利用する場合、割り込みはできません。

- バナーシートをプリントするように設定されている場合、本機能利用時でもバナーシートはプリントされます。
- 本機能を利用して出力された文書は、ジョブ履歴レポートで、「外部アクセスプリント」と記載されます。
- どこでもプライベートプリントでは、[プリント後に削除の初期設定] は利用できません。プリントや転送が完了した文書を削除するかどうかの設定については、「[履歴からプリント]の使用」(P.19) を参照してください。
- A3複合機とA4複合機の混在環境において、A4より大きなサイズを出力する場合は、以下の点にご注意ください
 - A3 機に蓄積されたプリントジョブを A4 機で出力する場合、 アイコンを表示し、A4 サイズで印字されることを注意喚起します。A4 より大きなサイズの場合は、A4 に縮小されて印字されます。
 - A4 機に蓄積された A4 より大きなサイズを A4 機で出力する場合、A4 に縮小されて印字されますが、 アイコンを表示しません。
 - 用紙サイズが指定されている場合などでは、ジョブがキャンセルされる場合があります。
- 本アプリケーションは、設定情報作成ツールと通信するために、SSL を使用する場合は 58552 番ポートを、SSL を使用しない場合は 58052 番を使用します。
- プライベートプリントと、どこでもプライベートプリントを併用している場合は以下にご注意ください。
 - ジョブを蓄積している機械でプライベートプリントを実行し、同時にリモート機でプリントしようとする、ジョブの転送に時間がかかることがあります。
 - プライベートプリントで出力指示をした文書が出力中であっても、同一文書に対してどこでもプライベートプリントからも出力指示が行えます。これにより同一文書が複数出力される場合がありますのでご注意ください。
- 課金認証プリントと、ID 選択プリントを併用している場合、ジョブを蓄積している機械で課金認証プリントを実行し、同時にリモート機でプリントしようとする、ジョブの転送に時間がかかることがあります。
- 一部の機種では、CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [セキュリティ] > [SSL/TLS 設定] > [IPP] > [SSL/TLS 通信のみ有効] にチェックを入れることで、IPP プロトコル利用時に SSL 通信のみを利用できます。
その場合は、リモート機とお使いの機械の両方で SSL の設定を有効にしてください。
設定が有効でない場合は、プリント時にリモート機でエラーが発生します。

Universal Print 利用時の注意 / 制限事項

- サーバーレスオンデマンドプリントから Universal Print 出力に対応した機械に蓄積したジョブは、リモート機から出力できます。
- リモート機が、サーバーレスオンデマンドプリントからの Universal Print 出力に対応していない場合、意図した出力結果にならないことがあります。
- Universal Print を利用するためには次の設定が必要です。

▷ どこでもプライベートプリントの場合

- お使いの機械とリモート機の認証方式の設定は、[Azure Active Directory] で一致させてください。
- Azure Active Directory で設定するテナントは、お使いの機械とリモート機で一致させてください。
- Azure Active Directory 対象の機械と設定方法は、弊社公式サイトの商品ページをご覧ください。

▷ID 選択プリントの場合

- ジョブを出力する場合は、[ID 選択プリント]で[(ユーザーIDなし)]を選択してください。

ジョブの表示件数について

- 蓄積されたジョブは、[どこでもプライベートプリント] 画面、[ID 選択プリント] 画面、[履歴からプリント] 画面のそれぞれの画面で、機械一台につき 99 件まで表示できます。いずれかの機械で、ジョブの数が 99 件を超えている場合、その機械の 100 件目以降のジョブは表示されません。



補足

[履歴からプリント] 画面は、管理者設定画面の [[履歴からプリント] の使用] で [する] を選択しているときだけ表示できます。

- 取得したジョブが 495 件を超えた場合、496 件目以降のジョブは表示されません。



補足

[文書の表示順] での設定によって、表示される文書は異なります。

本機の認証モードを変更した場合の注意 / 制限

サーバーレスオンデマンドプリントには、次の 2 種類があります。

- どこでもプライベートプリント：本体認証、外部認証、認証しないモードで IC カードをお使いの場合
- ID 選択プリント：認証しないモードで IC カードも利用していない場合

本機の認証モードを変更した場合は、使用するアプリケーションを変更する必要があります。

次の手順に従って、画面上の機能ボタンと、実行するプラグインを変更してください。

機能ボタンの変更 (ApeosPort-VI / DocuCentre-VI 以前の機種)

本体の認証モードを変更し、[どこでもプライベートプリント] から [ID 選択プリント]、または [ID 選択プリント] から [どこでもプライベートプリント] に変更する手順を説明します。

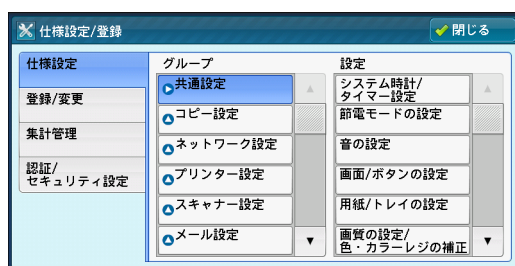


注記

機能ボタンの変更は、一部の機種のみ対応しています。

操作手順

- 1 機械の操作パネルで〈認証〉ボタンを押します。
- 2 〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定]を押します。
- 3 [仕様設定 / 登録]を押します。
- 4 [仕様設定] > [共通設定] > [画面 / ボタンの設定]を押します。



- 5 [メニュー画面の機能配列]を押します。

5 [メニュー画面の機能配列] を押します。

設定項目	現在の設定値
1. 初期表示画面	メニュー
2. 自動リセット後の画面	操作中の機能画面
3. 認証画面の自動表示	しない
4. 登録1ボタン	コピー
5. 登録2ボタン	(未設定)
6. 登録3ボタン	設定確認
7. メニュー画面の機能配列	-

6 次の操作をします。

▷ [どこでもプライベートプリント] から [ID 選択プリント] に変更する場合

(1) [カスタムサービス 1 - どこでもプライベートプリント] を押します。

下記に機能を配置 できます。	機能名
10. スキャナー (URL送信)	10. スキャナー (URL送信)
11. スキャナー (USBメモリ保存)	11. スキャナー (USBメモリ保存)
12. ジョブフロー	12. ジョブフロー
13. 文書プリント	13. 文書プリント
14. デジカメプリント	14. デジカメプリント
15. BMLinkS	15. BMLinkS
16. スキャナー (WSD)	16. スキャナー (WSD)
17. ジョブメモリー	17. ジョブメモリー
18. カスタムサービス 1 - どこでも プライバ	18. カスタムサービス 1 - どこでも プライバ



補足

「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

(2) [カスタムサービス 2 - ID 選択プリント] を選択し、[閉じる] を押します。

カスタムサービス2 - ID選択 プリント
カスタムサービス3 - (サービス未登録)
カスタムサービス4 - (サービス未登録)
カスタムサービス5 - (サービス未登録)
カスタムサービス6 - (サービス未登録)
カスタムサービス7 - (サービス未登録)
カスタムサービス8 - (サービス未登録)

▷ [ID 選択プリント] から [どこでもプライベートプリント] に変更する場合

(1) [カスタムサービス 2 - ID 選択プリント] を押します。

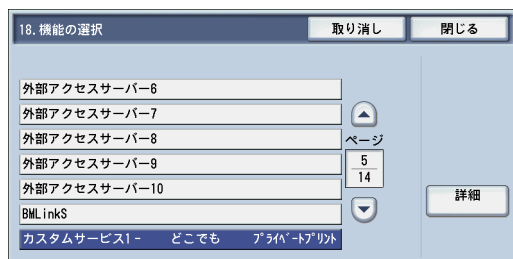
下記に機能を配置 できます。	機能名
10. スキャナー (URL送信)	10. スキャナー (URL送信)
11. スキャナー (USBメモリ保存)	11. スキャナー (USBメモリ保存)
12. ジョブフロー	12. ジョブフロー
13. 文書プリント	13. 文書プリント
14. デジカメプリント	14. デジカメプリント
15. BMLinkS	15. BMLinkS
16. スキャナー (WSD)	16. スキャナー (WSD)
17. ジョブメモリー	17. ジョブメモリー
18. カスタムサービス 2 - ID選択 プリン	18. カスタムサービス 2 - ID選択 プリン



補足

「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

(2) 「カスタムサービス 1 - どこでもプライベートプリント」を選択し、「閉じる」を押します。



7 「決定」を押します。

機能ボタンの変更 (ApeosPort-VII / DocuCentre-VII 以降の機種)

本機の認証モードに合わせて、「どこでもプライベートプリント」と「ID 選択プリント」のメニュー表示を変更する手順を説明します。



補足

サーバレスオンデマンドプリントをインストールすると、認証モードにかかわらず初期状態では、「どこでもプライベートプリント」と「ID 選択プリント」の両方が表示されます。

操作手順

1 機械管理者としてログインします。



補足

機械管理者のログイン方法については、『ユーザズガイド』をご覧ください。

2 メニュー画面下部の「カスタマイズ」を押します。



補足

お使いの機種によっては、「カスタマイズ」を押し、「ホームの編集」を押します。



「どこでもプライベートプリント」または「ID 選択プリント」を非表示にする場合

3 非表示にしたい機能ボタンを選択し、「削除」に続けて「OK」を押します。



補足

お使いの機種によっては、非表示にしたい機能ボタン左上の「×」を押し、「完了」を押します。



【どこでもプライベートプリント】または【ID 選択プリント】を表示する場合

3 [追加] を押します。



4 表示したい機能ボタンを選択し、[OK] を押します。



補足

お使いの機種によっては、表示したい機能ボタンを選択して [完了] を押します。



5 [上へ移動] / [下へ移動] で表示位置を合わせ、[OK] を押します。



補足

お使いの機種によっては、表示位置を変更したい機能ボタンを長押しして、任意の位置に表示位置を変更し、[完了] を押します。



プラグインの変更

使用するプラグインの変更は、CentreWare Internet Services で行います。

操作手順

- 1 ネットワークに接続されたコンピュータで、Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄にお使いの機械の IP アドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。CentreWare Internet Services が起動されます。



補足

CentreWare Internet Services への接続時、または操作中にユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、機械管理者 ID とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

- 3 機械管理者 ID （必要に応じてパスワード）を入力し、機械管理者モードになります。

4 [システム] > [プラグイン設定] をクリックし、本機にインストールされているプラグインの一覧を表示します。

各アプリケーションのプラグイン名は、以下のとおりです。

アプリケーション	プラグイン名
どこでもプライベートプリント	ServerlessOnDemandPrintSettingPlugin
ID 選択プリント	ServerlessOnDemandPrintSettingPluginNoAuth

5 次の操作をします。

▷どこでもプライベートプリントの場合

(1) [ServerlessOnDemandPrintSettingPlugin] を選択し、[停止] をクリックします。

▷ID 選択プリントの場合

(1) [ServerlessOnDemandPrintSettingPluginNoAuth] を選択し、[停止] をクリックします。

6 Web ブラウザーに、機械の再起動を指示するメッセージが表示されたら、[今すぐ再起動] をクリックします。

機械が再起動し、設定した値が反映されます。

7 機械の再起動は、使用するプラグインの開始を設定したあとに行います。 画面が表示されたら、手順 3 と同様の操作で [プラグイン設定] 画面を表示します。

8 次の操作をします。

▷どこでもプライベートプリントの場合

(1) [ServerlessOnDemandPrintSettingPlugin] を選択し、[開始] をクリックします。

▷ID 選択プリントの場合

(1) [ServerlessOnDemandPrintSettingPluginNoAuth] を選択し、[開始] をクリックします。

9 Web ブラウザーに、機械の再起動を指示するメッセージが表示されたら、[今すぐ再起動] をクリックします。

機械が再起動し、設定した値が反映されます。

本書の「使用環境の設定」>「サーバーレスオンデマンドプリントの環境設定」を参照して、複合機の登録を行ってください。

**サーバーレスオンデマンドプリント
どこでもプライベートプリントV7.x ID選択プリントV7.x 取扱説明書**

著作者－富士フイルムビジネスイノベーション株式会社
発行者－富士フイルムビジネスイノベーション株式会社

発行年月－2022年 1月 第1版

(帳票番号：ME7935J1-10)